

環境活動レポート

2018年版

〈2017年3月1日～2018年2月28日〉



来ハトメ工業株式会社



環境活動レポート部門



環境活動レポート部門



2018年7月11日発行

1. はじめに	2
2. 会社概要	3
1) 登録事業者の概要	
2) 沿革①(当社71年のあゆみ)	
3) 沿革②(当社環境活動のあゆみ)	
4) 設備概要並びに従業員紹介	
3. 環境マネジメントシステム	17
1) EA21環境経営組織図	
2) 役割責任及び権限	
3) 2017年度の変更点	
4. 環境方針	18
5. 環境目標と環境活動計画	19
1) 過去5年間の環境負荷の実績と中期環境目標	
2) 中期環境目標と2017年度環境活動計画	
6. 環境関連法規	30
1) 法規制の遵守状況のチェック結果	
2) 違反・訴訟の有無	
3) 法規制の遵守状況の評価	
7. 緊急事態の想定とその対応策	33
1) 想定される緊急事態	
2) 緊急事態の対応及び訓練状況	
3) 緊急事態の対応及び訓練状況の評価	
8. 教育訓練計画	35
1) 環境教育・訓練の概要及び評価	
2) 主な環境教育・訓練の取り組み事例	
3) 環境教育・訓練に関する取組の評価	
9. 環境目標の達成状況と環境活動計画の実施状況	37
1) 主な環境負荷の実績と達成状況	
2) 2017年度各項目毎の取組の評価と次年度以降の取組内容	
3) CO2排出量で見る2017年度環境活動	
4) SDGsで見る2017年度環境活動総括	
10. 代表者による見直し結果	53
1) 代表者レビュー	
2) 2018年度以降の目標	
3) その他の指示事項	

来ハトメ環境トピックス2017 目次

① 今までとこれから～来ハトメ工業株の未来予想図～	5
② みんながSDGsと友達になるために～私のSDGs～	8
③ 初年度は10点満点中7.8点～私のSDGsのふり返り～	16
④ 学びの意欲は今年も健在～2017年度資格試験合格者の声～	28

レポートを読み解くためのキーワード解説 目次

I 原単位で使用している「洗浄袋数」とは何?	19
II 「洗浄袋数(調整)原単位」とは?	23
III 「材料つなぎ教育」とは?	24
IV 「SDGs評価点」の採点ルール	29

SDGsの個人目標

当社の環境管理責任者は大変にマメな男で、私も含めた不勉強な全員に、毎週のQC会議の中で、度々環境関連のプリントを作って配布し、噛んで含めるように平易に解説してくれる。

昨年からはじめたSDGsについては、最初、雲をつかむような感じで、それまでの話と勝手が違い、「だから何なのだ？」と聞き流していた。

9月末に全員が目標を設定し回答するように求められた時も、何を書いたら良いのか訳も分からず、ただ「現在やっていること、又は、これからやろうとしていることを何でもいから書いて欲しい。それらは、必ずSDGsの17の目標のどれかに当てはまる筈だから、それらの1つ1つについて説明して、理解させて頂く」との言葉に従って、全員が回答した。

酒を控える、運動する、家事を分担する、選挙に行く等々、全く当たり前の回答が多かったようだが、それらの1つ1つがSDGsの目標のどれに当てはまるかを説明してくれたので、何となく解ってきたような感じがしていた。恐らく、悪いこと以外は、全てが当てはまるのではないかな？

その様に考えると目標の設定は簡単で、例えば「人の悪口は言わない」、「常に笑顔を心掛ける」、「出来るだけ相手の立場に立って物事を考える」、「話し合う時は大声を出さない」、「食事は腹八分目にする」、「守れない約束はしない」等々を、自分の行動に即して、具体的に書けばよいのだと思う。

但し、人間は、得てしてこの通りに実行できないものを実行となると、少しの努力が必要なる。だからこそ「自分は努力すると約束する」ことを形にするために「目標の設定」をする必要があるのだと思う。

その様に考えると、SDGsの最終的な到達点は、次の様なところではないかな？と自分なりに理解した。

「少しでも前向きな目標を設定し、それを実行することで、世の中を少しでも良い方向にもっていく。」

だとしたら、とても良い考え方だと思う。

物事、そう簡単に実行できるものではないけれど、半歩ずつでも実行していけば、少なくとも戦争とか環境破壊による地球滅亡という最悪の事態には至らなくて済むと思う。

自分たちのためにも、子孫のためにも。

来ハトメ工業株式会社
取締役会長(EA21代表者) 来 満

2.会社概要

(7) 事業規模



項目	年 度										単位
	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
主要製品生産高	3,102	2,425	2,677	1,902	1,669	1,626	1,663	1,776	2,030	2,368	百万個
売上高	959	719	833	590	544	519	541	595	673	766	百万円
従業員数	38	41	43	41	41	40	38	37	36	37	人
事業所延床面積	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	m ²
事業所敷地面積	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	m ²

(8) 当社主力製品並びに主要取引先

● アルミ電解コンデンサ用アルミケース(売上構成比99%)



我々の豊かな暮らしを支える家電製品や自動車。これらの心臓部とも言うべき基盤部分で、実は当社の製品が活躍していることを、皆様は御存じでしょうか？

電子基板のあちこちで、独特の存在感を放つアルミ電解コンデンサの骨格部分とも言うべきアルミケースこそ、当社の主力製品！なのです。

主要御取引先：日本ケミコン株式会社様他

● 建築金物(写真左)、香水プッシュボタン・ネジ(写真右)(売上構成比1%)

当社が得意とする「アルミ深絞り加工」は、アルミ材料を円筒形に加工する技術。

このアルミ深絞り加工の応用によって誕生したのが、これらの製品群。

主要御取引先： カネダ株式会社(建築金物)
(有)都プレス工業所(香水)

上記御取引様を通じ、それぞれ、大手メーカー様へ納入しております。



2.会社概要

2) 沿革①(当社71年のあゆみ)

1946
～1969 草創期 ～「下町の小さな商社」からの出発～



- 1946 . 3 東京荒川区三河島にて「来商店」創業
- 1952 . 7 「有限会社来商店」と改組
- 1952 . 8 東京都足立区柳原に協力工場設置
- 1953 . 10 東京都葛飾区奥戸本町に協力工場設置
- 1956 . 6 東京都台東区入谷に移転
- 1962 . 12 「有限会社来ハトメ店」と改称

1969
～1974 念願の工場設立 ～メーカーへの第一歩～

- 1966 . 3 東京都葛飾区新宿町に「金町工場」設立
- 1971 . 4 東京都台東区入谷1-33-5に本社移転

1974
～1998 八潮工場設立 ～金属部品メーカーとして大きく発展～



- 1974 . 4 来ハトメ工業株式会社と改組。資本金¥10,000,000
- 1975 . 3 増資。資本金¥25,000,000に
- 1990 . 3 本社機能を全て八潮工場へ移管
- 1996 . 3 増資。資本金¥35,000,000に
- 1996 . 6 「ガラス容器用蓋」を開発。特許取得

1998
～現在 アルミ材加工専門化、品質・環境認証取得

- 1998 . 3 鉄、真鍮から撤退、アルミ材料専門メーカーになる
- 2004 . 1 炭化水素洗浄設備を導入(業界初)
- 2005 . 7 ISO9001:2000の認証取得
- 2007 . 3 年間売上高10億円を達成
- 2010 . 6 エコアクション21認証取得
- 2017 . 7 新製品「段付きリベット」量産開始

来ハトメ環境トピックス2017

① 今までとこれから～来ハトメ工業(株)の未来予想図～

冬の時代を迎えても

2010年9月、エコアクション21認証取得以後ほどなくして発生した東日本大震災、更に極端な円高等のおおりの受けを形で、電子部品業界では海外生産へシフトする流れが加速していきました。

当社もその影響をもちに受ける形で、2011年以降「冬の時代」を迎えることに……。

しかし、本業の不調と相反するように、環境活動においては、活動を通じて着実に成長を遂げ続ける多くの従業員の努力が実り、順調すぎるほど順調に推移、本業が低

迷にあえぐさなか、複数回の環境関連各賞の受賞を果たし、「冬の時代」真っ只中に置かれた暗い社内、数少ない明るい話題を振りまくことができたことは、言うまでもありません。

「環境だけ」からの脱却

本業の低迷ぶりとは対照的すぎるほどの環境活動における大躍進を果たした当社。そんな姿を「環境だけの来ハトメ」と揶揄されることもしばしばでした。しかし、2016年頃から突如盛り上がりを見せ始めたコンデンサの車載需要の激増に支えられ、長らく超低空

飛行状態だった本業の業績もV字回復。その勢いは今も続いています。また、「冬の時代」に環境活動を通じて大きく成長を果たした従業員は、いまや本業でもその能力の片鱗を見せはじめ、新規得意先への営業活動、新製品・新事業への挑戦の意欲も芽生えるといったようなうれしい変化も、一部で見られるようになってきています。

「環境だけの来ハトメ」が「環境から大躍進を果たす来ハトメ」に変わる日は、そう遠くない未来に、必ず、やってくることでしょう。

3) 沿革②(当社環境活動のあゆみ)

2009.12 ～2011.2 念願のEA21取得～ただ、がむしゃらに～



- 2009 . 12 エコアクション21取得を目指し本格的に環境活動を開始
- 2010 . 4 紙ごみの有価物化(事業系一般廃棄物量約2t/年削減に貢献)
- 2010 . 6 エコアクション21初回審査(前途多難な船出に)
- 2010 . 8 初の本格的避難訓練実施(写真)
- 2010 . 9 エコアクション21認証取得



2011.3 ～2012.2 2年目～節約マインド全開!そして、結果への評価も～



- 2011 . 3 東日本大震災発生
- 2011 . 6 工場内水銀灯をLED式に更新(写真)
- 2011 . - ウェスリユースを開始(洗浄機にて洗浄し、再使用)
- 2011 . 11 湯沸器の水量・ガス量ルール策定
- 2012 . 2 第15回環境コミュニケーション大賞奨励賞受賞



2012.3 ～2013.3 3年目～評価を自信に、更に躍進～



- 2012 . - 森林認証品の優先購入を開始(生物多様性保全のための取組の一環として)
- 2012 . 4 材料つなぎ教育開始
- 2012 . 6 窓用断熱フィルム施工
- 2012 . 8 デマンドコントローラー導入(写真)
- 2013 . 3 第16回環境コミュニケーション大賞 大賞(環境大臣賞)受賞



2013.3 ～2014.2 4年目～低迷する本業に環境活動が「喝!!」～



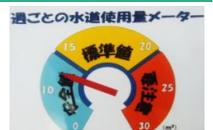
- 2013 . 3 ストレッチフィルムの有価物化
- 2013 . 6 節電を成功させるための勉強会実施(写真)
- 2013 . 6 『平成25年版環境白書』に当社事例紹介される
- 2013 . 10 実車によるエコドライブ講習初実施
- 2014 . 1 全員参加の5S活動を開始



2014.3 ～2015.2 5年目～洗浄機更新で重油不使用を実現!～



- 2014 . 3 視覚的「見える化」ボード完成(写真)
- 2014 . 8 洗浄機更新により、重油不使用を実現
- 2014 . 10 『日経エコロジー』(日経BP社)にて当社事例掲載
- 2015 . 2 第18回環境コミュニケーション大賞 優良賞受賞



2015.3 ～2016.2 6年目～実りの年、しかし、手は抜かず～



- 2015 . 3 第16回彩の国埼玉環境大賞優秀賞受賞
- 2015 . 7 『埼玉ビジネスウォッチ』(テレビ埼玉)にて当社活動事例紹介(写真)
- 2015 . 8 「環境 人づくり企業大賞2014」大賞(環境大臣賞)受賞
- 2015 . 9 社内蛍光灯の9割(約200本)をLED化
- 2015 . 12 『中小企業が環境をダシに儲ける本』(日経BP社)に掲載
- 2016 . 2 第19回環境コミュニケーション大賞 優秀賞受賞



2016.3 ～2017.2 7年目～車載品質と環境活動との葛藤～



- 2016 . 5 「環境 人づくり企業大賞2015」優秀賞受賞
- 2016 . 5 社用車1台をハイブリッド車に更新(写真)
- 2016 . 10 製造ライン清掃、潤滑油全交換を実施
- 2016 . 11 PCB廃棄物(コンデンサ)の処理が完了
- 2017 . 2 第20回環境コミュニケーション大賞 大賞(環境大臣賞)受賞



4) 設備概要並びに従業員紹介

(1) 豊かな暮らしの、陰の功労者? ~アルミケース製造ライン~

当社の命ともいうべき143台のプレスからなるアルミケース製造ライン。そこを主たる仕事場とするのが、5名の製造ラインオペレーター。

彼らの努力が、世界のコンデンサー生産を、ひいては電気製品・自動車をもたらす我々の豊かな暮らしを支えている! のかもしれません、たぶん……。

i) 配置図と各設備の名称

色記号	設備名称(メーカー・型番)
	5号プレス(127台)
	4号プレス(16台)
	エアークリーナー(岩崎エアテック・AT7000)
	溶接機(東洋変圧器・TK-150)
	切断機(マキタ・2412N)
	卓上電動研磨機(富士電機・BG-1)
	油圧式金切鋸盤(村橋製作所製)
	汎用旋盤(滝沢製作所・TSL-550D)
	スクラップ用コンベア
	給水系統
	排水系統

ii) アルミケース製造ライン従業員紹介

	①	12年目	②	—			
	③	廃棄物(事業系一般廃棄物)					
		ペットボトルキャップ収集を行う。					
		買い物袋をなるべくもらわない。					
	④	積極的に募金活動を行う。					
加茂 隆弘							
	①	12年目	②	—			
	③	廃棄物(廃アルミ)、環境ボランティア					
		マイバック、マイバスケットの利用。					
	④						
加藤 直							
	①	12年目	②	—			
	③	CO ₂ (電力)					
		森林保護等、自然保護に努める。					
		戦争に反対し続ける。					
	④	外来種を流入させない。					
	エコカーを購入する。						
	家庭から出るゴミを減らす。						
田辺 栄一							

2.会社概要



来ハトメ工業株式会社



セノ リト アンジェロ

①	6年目	②	—
③	廃棄物(産業廃棄物(廃ウエス)) 電気、水道の消し忘れをなくす。		
④			



氏名

①	勤続年数	②	社内役職
③	エコアクション21担当項目		
④	私のSDGs	SDGs アイコン	

来ハトメ環境トピックス2017

② みんなが、SDGsと友達になるために ～私のSDGs～

そもそも、SDGsって何？

2015年9月、ニューヨーク国連本部において開催された「国連持続可能な開発サミット」において、150を超える加盟国首脳に参加の下、その成果文書として、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」なるものが採択されました。

そのアジェンダにおいて掲げられた、17の目標と169のゴールこそ、「持続可能な開発目標」と日本語訳される、SDGs。

このSDGs、現在、大企業ではぼちぼち取組みを始めたところが目立つようになっているものの、中小企業となると、まだほとんど取組事例が報告されていないのが現状……。ならば、先駆者になるチャンス！と言わんばかりに、無謀にも、SDGsへの取組みを開始した(してしまった)当社……。

2017年9月のことでした。

どうすれば、SDGsと友達になれる？

そもそも、参考にできる事例も乏しい中、SDGsに取り組んでいる企業は何をしているのかを、まず調べてみることに。

そこで、最も目についたのが、SDGsと自社の活動との紐付け(ひもつけ：自社の活動を無理やりSDGsの169のゴールに当てはめること)をすること。それ自体は割と簡単な作業だが、これをしたところで、全員にSDGsが浸透し、SDGsで未来を変える!なんてことに発展するはずがない!!という結論に至りました。

では、どうするか——。ズバリ、「会社の活動うんぬんより、まずはSDGsを使って自分自身を変える成功体験を味わうことができれば、必ずSDGsと友達にな

れる！」と考え、まずは、2017年9月19日、「SDGsキックオフミーティング」を全社員対象に行い、SDGsの概要、SDGsへの取組から得られると思われるメリットなどを解説。更にその場で2018年3月までの6ヶ月間における、経済・環境・社会関連の個人目標の設定をお願いし、目標設定後はその達成に向けて個人的に取り組んでもらうことにしたのです。



SDGsキックオフミーティングの様子

これこそが、私のSDGs

こうして全従業員に立ててもらった個人目標こそ、従業員紹介の④「私のSDGs」。

こうして集まった目標を見ると、「タバコを減らす」などといったものから「外来種の除去に努める」といった崇高なものまで、実に多様。でもそれらの目標全てが、不思議とSDGsのゴールのいずれかに当てはまってしまふ。当社のSDGsは、こんな不思議体験から始まることとなりました。

2.会社概要



来ハトメ工業株式会社

(2) 「車載品質」への飽くなき挑戦～工作室(金型製造・修理)～

近年、急速なカーエレクトロニクス分野の進歩に後押しされ、大きな伸びを見せるアルミ電解コンデンサの車載需要。それに伴い、当社製品の多くも、車載用に使われる機会が増加しています。

車載品に要求されるのは、究極の品質管理。6名の熟練工達が、「工芸品レベル」とも言われるほど過酷な要求をクリアすべく、飽くなき挑戦を続けています。

i) 配置図と各設備の名称

色記号	設備名称(メーカー・型番)
	平面研削盤(日興機械・NFG-515)
	5号プレス(8台)
	卓上ボール盤(遠州工業、日立工機製)
	コンターマシン(日本工機・L-300)
	電気ドリル(日立工機・DG-5)
	卓上自動面取器(日本オートマチックマシン製)
	卓上グラインダー(日立工機・GT-13)
	セイパー(長岡工機・NS-580)
	フライス盤(牧野フライス・KSJ型)
	フライス盤(静岡鐵工所・VHR-A型)
	遠心脱油機(広瀬脱水機・AR-66型)
	アルミスクラップ集積所
	スクラップ運搬用コンベア

ii) 工作室(金型製造・修理)従業員紹介

 来 昌伸	①	40年目	②	代表取締役社長				
	③	地域貢献(環境ボランティア)						
		八潮市の清掃ボランティアを行う。						
		エコカーへの買い替え。						
 有山 浩一郎	①	34年目	②	取締役工場長				
	③	廃棄物(紙くず)						
		ハイブリッドカーの使用。						
		エコドライブに努め、給油頻度を伸ばす。						
 井出 学	①	21年目	②	製造課長 兼 副工場長				
	③	廃アルミ(材料歩留まり)						
		エコドライブに努める。						
		家事を分担する。						
 井出 学	④	食べ物は、残さず食べる。						
		割り箸をなるべく使わない。						
		不良削減。						

2.会社概要



来ハトメ工業株式会社

	<p>① 20年目 ② 主任</p> <p>③ CO₂(LPG)、有害化学物質(リスクアセスメント) リユース、リサイクルの徹底。 仕事に魂を込める。</p> <p>④</p>	 	
	<p>① 12年目 ② 主任</p> <p>③ 水、有害化学物質(啓発教育)、環境ボランティア ごみの減量、分別を心がける。 バイクのメンテナンスをまめに行う。</p> <p>④ プレス、金型の修理技術の向上。</p>	   	
	<p>① 9年目 ② 主任</p> <p>③ CO₂(ガソリン)、清掃ボランティア 清掃ボランティア活動を行う。 募金箱への募金を行う。</p> <p>④ 海や山、道路を汚さない。 エコドライブに努める。 トイレの水はなるべく小で流す。</p>	          	
 <p>写真</p> <p>氏名</p>	<p>① 勤続年数 ② 社内役職</p> <p>③ エコアクション21担当項目</p> <p>④ 私のSDGs</p>	<p>SDGs アイコン</p>	

2.会社概要



来ハトメ工業株式会社

(3) 洗浄を極めるために ～洗浄工程～

製造中に製品に付着する潤滑油を落とすのが、この洗浄工程。

一見単純そうなこの工程ですが、気候等のわずかな条件の違いで変わってしまう洗浄品質を一定に維持するのは、実は大変な離れ業！だったりします。

それに日夜挑み続けるのが、3名の作業員達。今日も、「不可能を可能にする洗浄技術」で、お客様に貢献し続けます。

i) 配置図と各設備の名称

色記号	設備名称(メーカー・型番)
	洗浄機 (クリーンビーFVH3-4085V2RCVS)
	遠心脱油機(広瀬脱水機製)
	チラーユニット
	チラーユニット

ii) 洗浄室従業員紹介

 来 淳一郎	①	21年目	②	営業課長				
	③	EA21製造部門責任者、化学物質(潤滑油)他						
		クリーンディーゼル車の使用。 エコドライブで軽油の消費を削減する。						
	④							
 斉藤 進	①	13年目	②	—				
	③	化学物質(炭化水素)						
		万全の体調管理を心がける。						
	④							
 グエン ヴァン トゥアン	①	1年目	②	—				
	③	研修期間中。						
		2018年6月より当取組に参加。						
	④							

2.会社概要



来ハトメ工業株式会社

(4) 二刀流、三刀流は当たり前～2F管理部門～

品質管理、物流、経理、総務、営業、EMS・QMS事務局……。こうした多彩な職種を一緒にたにまとめたのが、当社の管理部門。

職種が多彩なだけに、今流行りの二刀流はおろか、三刀流だって当たり前!! 彼らの、まさに「八面六臂」というべき仕事的一幕を御覧に入れましょう。

管理部門従業員紹介

 来 満	① 48年目 ② 取締役会長 兼 管理部長 ③ EA21代表者、継続的改善 毎日鉄アレイ、腹筋、背筋各100回。 週に1度休肝日を設ける。 ④ カロリー制限を行う。 中国語教室への通学は徒歩、電車で。 中国語の学習を継続する。
 佐々木 勝	① 25年目 ② 管理課長 ③ EA21管理部門責任者、緊急事態(避難訓練)他 飲酒量を今までの半分にする。 タバコを加熱式タバコに切り替える。 ④ 紙、ビニール(有価物)の分別に努める。
 石原 隆雅	① 13年目 ② 係長 兼 ISO9001管理責任者 ③ EA21環境管理責任者、法規制、生物多様性他 エコカー、買うぞ! 選挙の際は、必ず投票。 ④ 生物多様性関連の学習の継続。 最低45歳までは勉強を継続する。 消防団活動で、地域の防災に貢献する。
 来 博行	① 6年目 ② — ③ eco検定講座、ペットボトルキャップ収集統括 黒字決算となるよう努力する。 中庭等に落ちているゴミを拾う。 ④ 月に1回は運動を行う。
 福田 則子	① 27年目 ② 主任 ③ グリーン調達 エコバックの使用、レジ袋等は断る。 食器洗い洗剤をヤシノミ洗剤に替える。 ④ なるべく歩くようにする。 WWFの自然保護募金に協力する。

2.会社概要



来ハトメ工業株式会社

	<p>① 19年目 ② —</p> <p>③ CO₂(電力)、廃棄物(分別) ハイブリッド車の使用。 ペットボトルキャップ収集を行う。</p> <p>④ 衣類のリサイクルに努める。</p>
	<p>① 19年目 ② —</p> <p>③ CO₂(電力)、廃棄物(分別) 空缶、ペットボトルはリサイクル。 エコバックを使用する。</p> <p>④ 詰替え用製品を選んで購入。</p>
	<p>① 19年目 ② —</p> <p>③ CO₂(電力)、廃棄物(分別) ペットボトルキャップ収集を行う。 洗顔時の水量に注意する。</p> <p>④</p>
	<p>① 16年目 ② —</p> <p>③ CO₂(電力)、廃棄物(分別) 買い物のときはエコバックを使う。 ペットボトルキャップ収集を行う。</p> <p>④ 衣類等をリサイクルする。</p>
	<p>① 15年目 ② —</p> <p>③ CO₂(電力)、廃棄物(分別) 残り物のリメイク(アレンジ)をする。</p> <p>④</p>
	<p>① 14年目 ② —</p> <p>③ CO₂(電力)、廃棄物(分別) お風呂のガスの無駄遣いをしない。</p> <p>④</p>

2.会社概要



来ハトメ工業株式会社

 大小堀 レオニラ	① 14年目 ② — ③ 備品コスト意識改善他 タバコの量を控える。 着なくなった服は、リサイクルへ。 ④
 大西 百合子	① 12年目 ② — ③ CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) 着られなくなった服の有効活用。 ペットボトルキャップ収集を行う。 ④ エコ替え(エアコン)をする。
 田中 ジェバチキ	① 12年目 ② — ③ CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) 着なくなった服は、リサイクル。 ペットボトルキャップ収集を行う。 ④
 メンドーサ カリーナ アンジェリカ セノ	① 12年目 ② — ③ CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) 買い物時、車を使わず自転車で。 トイレの便座、使用後は必ず閉める。 ④
 坂本 ルシール	① 11年目 ② — ③ CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) 洋服のリメイク(リサイクル)をする。 ペットボトルキャップ収集を行う。 ④
 奥山 レアグレース	① 11年目 ② — ③ CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) 買い物にエコバックを持っていく。 ペットボトルと缶を分別、リサイクル。 ④ 使っていない電気を消す。

2.会社概要



来ハトメ工業株式会社

 大塚 アデリーナ	① 11年目 ② — ③ CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) 電気、ガスを無駄遣いしない。 ④
 深井 美樹	① 9年目 ② — ③ CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) 節電、節水を心がける。 スーパーでのエコバック活用。 ④ 1日7,000歩、歩く。
 遠藤 フレンシシタ	① 9年目 ② — ③ CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) 自宅での太陽光発電。 エコバックを使うようにする。 ④
 星野 ウェンディ	① 1年目 ② — ③ CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) 生活排水をきれいにして豊かな海を守る。 ④
 レ ティ トウ ヒエン	① 1年目 ② — ③ CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) 健康のため歩いて通勤する。 買い物時、エコバックを活用。 ④
 佐藤 ジュリタ	① 1年目 ② — ③ CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) 2018年4月より当取組に参加。 ④

来ハトメ環境トピックス2017

③ 初年度は10点満点中7.8点～私のSDGsのふり返し～

集まったSDGは、何と160個!

当レポートは、記念すべき「当社SDGs導入元年」発行のレポート。そこで、SDGsの概要はさることながら、当社が実際に行ったSDGsの取組についてもリアルに知って頂くために、今回のレポートでは、SDGsを始めるに当たり全従業員が2017年9月から2018年3月までの個人目標として実際に各自取り組んだ内容を「私のSDGs」と銘打って、各従業員の顔写真の横に掲載しています。

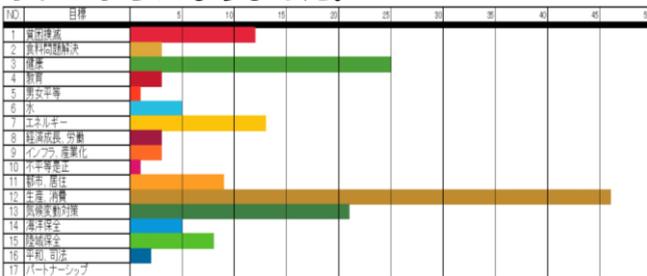
これらは、SDGsについてあまり難しい説明をせず、「社会・経済・環境に関連する目標を立ててみてください」という無茶ぶりともいうべきお願ひを受け、各自が設定してくれたもの。事務局としては、これこそまさにSDGs紐付け作業の格好の練習台！慣れない作業と格闘すること数日、各自の目標のSDGs紐付け作業は、何とか無事に完了しました。

ところで、実際に紐付け作業を行ってみると、面白い発見がありました。

例えば、エコドライブを目標とした場合、

- 安全運転による死亡率の低減(目標3(健康)に該当)
- ガソリンの消費量削減(目標7(エネルギー効率改善)に該当)
- 都市の大気への悪影響低減(目標11(持続可能な都市居住)に該当)
- ガソリン消費量削減によるCO₂排出量削減(ゴール13(温暖化防止)に該当)

というように、目標は一つであっても、紐付け後に複数のゴールが設定される取組が、実に多いことに気付いたのです。そのため、わずか36人の取組みながら、集まったSDGsは実に160個。それらを集計し、グラフ化すると、下のグラフのようになりました。

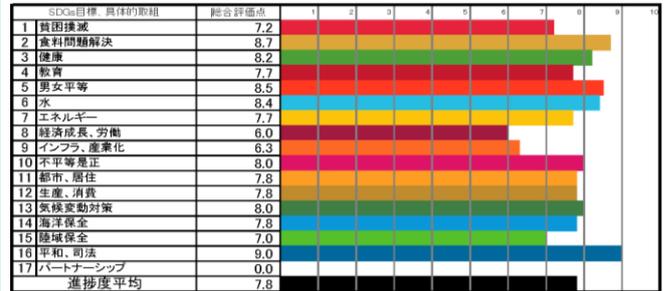


SDGs個人取組集計結果

ほぼ全ての目標が満遍なく網羅された集計結果——。この取組が成功すれば、少しだけ世界を変えられるかも？
そんな気がしてきました。

達成度は7.8点～取組の「ふり返し」～

こうしてはじまったこの取組、約束の6ヶ月を終えた2018年4月、各自、取組結果を10点満点で自己採点してもらいました。その結果をまとめたものが、下のグラフになります。



「私のSDGs」ふり返し結果

取組全体の平均点(グラフ最下部)を見ると、10点満点中7.8点。そこそこ悪くない点数に、今回の取組みが、ただの目標設定だけでは終わらず、それなりに意味あるものになったことを再確認することができました。

しかし、課題も……

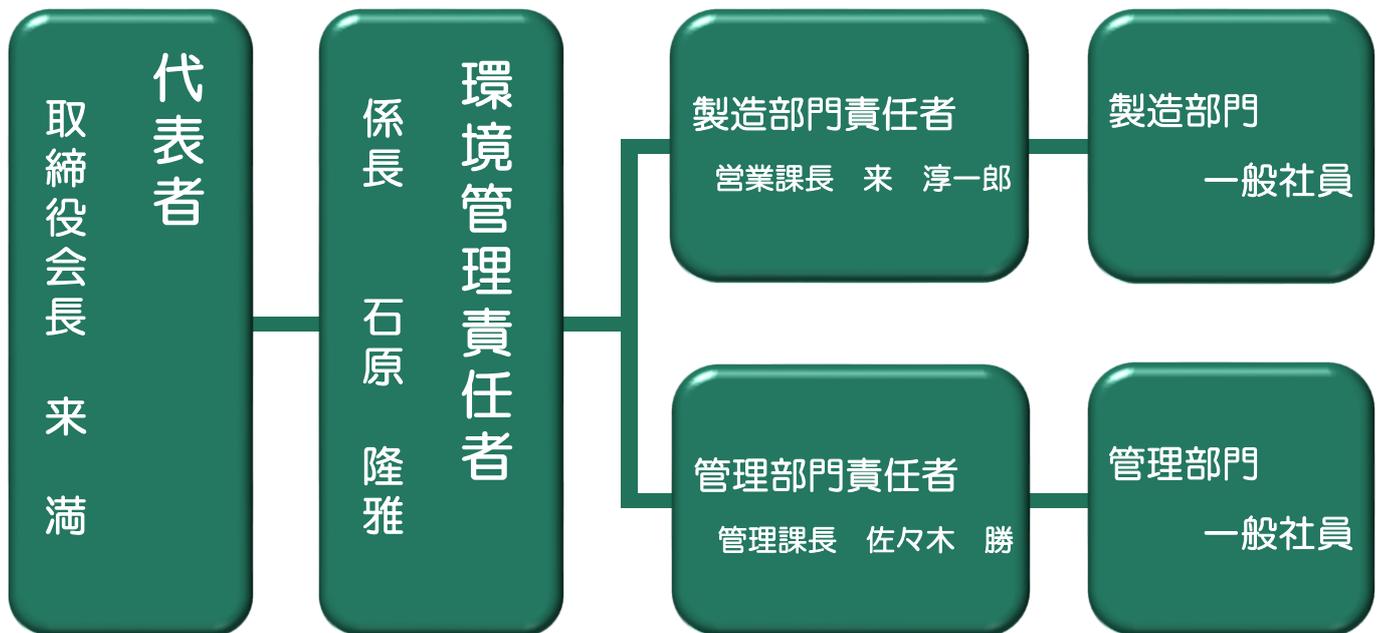
一方、このグラフを細かく見てみると、いくつかの課題が垣間見えるのも、また事実——。例えば、達成度が極端に低い8(経済成長、労働)、9(インフラ、産業化)は、主に会社の本業への目標が反映する部分。本業への志の高さ故の結果と取ることができる反面、本業については、この6ヶ月間で、目覚ましい進歩を遂げられなかったと解釈することができるでしょう。

また、一つだけ、誰からも取り組まれていない目標があったことも、注目すべきポイント。目標17(パートナーシップ)がそれで、教科書的には、「他社、自治体等との連携」、「途上国への技術援助」等がこれに当たるとされ、それだけ聞くと、個人で取り組む目標としては、ちょっと無理があるようにも思えます。(ちなみに、会社としても、この取組については今のところ全く実行できていません)。

目標17への取組ゼロという結果が物語るものは？恐らく、「社外の組織と連携し成果を上げる」という考えの欠如こそ当社及び当社従業員の大きな弱点！だということでしょう。SDGsがなければ、つい見過ごしていた部分と言えるかも知れません。

このように、従来の環境活動の枠を超え、多くの「気づき」を当社並びに当社従業員に与えてくれたSDGs。当社としては、従来の環境活動にうまく加え、その活動を更に発展させるツールとして、これからも利用していこうと考えています。

1) EA21環境経営組織図



2) 役割責任及び権限

役割(職位)	責任 及び 権限
代表者	1. 環境方針の制定、誓約及び従業員への周知 2. 環境管理責任者の任命 3. 環境経営資源の確保 4. 是正・予防処置発生時のフォロー、並びに指示 5. 全体の取組状況の評価と見直し、並びに指示
環境管理責任者	1. エコアクション21活動全般の施策・運用 2. エコアクション21の実施記録を経営者に報告 3. 各種環境関連文書の記録の管理 4. 環境関連法規の遵守に関する教育 5. 環境活動レポートの作成、公表
製造(管理)部門責任者	1. 環境目標に即した自部門の環境活動計画の策定・実施 2. 自部門の環境活動計画の実施状況を環境管理責任者に報告 3. 自部門の一般社員に対する環境教育の実施
(各部門)一般社員	1. 各担当項目の施策策定及び施策の実施 2. 各担当項目の実施状況を環境管理責任者に報告 3. 担当項目以外の環境保全活動への協力 4. 環境関連法規に関する知識習得及びその遵守 5. 活動を通じての部門責任者、環境管理責任者への提案 6. 各家庭における環境教育の実施

3) 2017年度の変更点

環境管理責任者の役職変更(主任⇒係長)

当社は金属製品製造業の事業を通じて環境保全を配慮して行動することを経営の重要課題の一つとしてとらえて、次の行動指針を定めます。

- 1 . 事業活動に伴う環境負荷を低減し、環境への影響を最小限にとどめるために、次の取組を行います。
 - ① 製造工程、管理工程における二酸化炭素排出量の削減
 - ② 分別排出、使い切り等による廃棄物排出量の削減
 - ③ 水使用量の削減
 - ④ 製造工程における材料歩留まりの向上
 - ⑤ グリーン調達の推進
 - ⑥ 有害化学物質の取扱い禁止並びに化学物質使用量の削減
- 2 . エコアクション21の取り組みにより環境への取り組みの継続的な改善を図ります。
- 3 . 事業活動に適用される環境法規制を遵守します。
- 4 . 環境教育・訓練の実施により、全ての社員に環境方針を周知徹底すると同時に、環境保全に関する知識を高め、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を図ります。
- 5 . 生物多様性に関する社員教育を実施するとともに、その保全と持続可能な利用のための取組を推進します。
- 6 . ボランティア活動等を通じて、地域貢献に取り組みます。
- 7 . 5Sを徹底し、社内美化に努めると同時に、事業活動内に潜むムダの「見える化」とその排除に努めます。
- 8 . 環境方針等、必要な情報を開示します。

2014年3月3日改訂
来ハトメ工業株式会社

取締役会長(EA21代表者)

来 浩 

5.環境目標と環境活動計画



来ハトメ工業株式会社

1) 過去5年間の環境負荷の実績

項目(単位)	2012	2013	2014	2015	2016	
CO ₂ 排出量	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)※1	329,319	326,337	270,342	251,277	299,131
	電力(kWh)	376,618	374,437	523,004	562,463	623,392
	重油(ℓ)※2	57,700	55,700	12,500	-	-
	LPG(kg)	619	528	465	474	505
	ガソリン(ℓ)	3,084	3,305	3,250	3,285	2,573
	灯油(ℓ)	1,221	1,773	1,482	1,227	1,641
廃棄物	事業系一般廃棄物(kg)	2,705	1,700	1,795	1,860	1,285
	産廃(廃ウエス)(kg)	1,200	1,800	1,800	1,400	9,030
	紙くず(リサイクル量)(kg)	1,910	1,540	1,930	1,660	2,270
	廃アルミ(有価物)(kg)	205,390	215,130	218,161	241,234	279,020
水	上水(m ³)	1,140	1,061	571	405	418
化学物質	炭化水素(ℓ)※3	59,250	38,400	24,000	12,600	16,000
	潤滑油(ℓ)※4	24,000	26,000	22,000	22,000	35,000
グリーン調達率(%)	71.13	75.18	80.42	80.52	71.79	

※1 二酸化炭素排出量は、平成20年度東京電力(株)の実排出係数(0.418kg-CO₂)を基に算出したものです。

※2 当社における重油使用は2014年8月をもって終了しました。

※3 炭化水素の物品名は「ソルトワープ-1」(第2石油類 非水溶性)になります。

※4 潤滑油の物品名は「ラタックコンパウンド」(第4石油類)になります。

項目毎の基準年度は、(2)中期環境目標の各項目欄を御参照下さい。

2) 中期環境目標と2017年度環境活動計画 (基準年度、削減目標は2017年度年初の目標値)

二酸化炭素排出量(目標値：総量(kg-CO₂))

中期環境目標

(単位:kg-CO₂)

年度	目標値	基準年度比
2017	239,529	26.6%削減
2018	233,656	28.4%削減
2019	227,782	30.2%削減
2020	221,908	32.0%削減
2021	216,034	33.8%削減
2030	163,169	50.0%削減

基準年度	2013年度
基準年度実績	326,337kg-CO ₂

中期環境目標達成のために

(環境管理責任者)

近年、大企業を中心にRE100への関心が高まるなど、今やCO₂排出量削減は企業にとっての最重要課題の一つになりつつあります。

当社としては、こうした流れに取り残されることの無きよう、CO₂排出係数が低い事業者への電力購入先の変更や、非電力部分の電力化などを進めることで、国の約束草案より遥かに厳しい目標に、果敢に挑む所存です。

レポートを読み解くためのキーワード解説

I 原単位で使用している「洗浄袋数」とは何？

当社にて、電力使用量、廃アルミ、炭化水素使用量及び潤滑油使用量の4項目において、原単位の分母として採用している「洗浄袋数」。ここでは、当社環境活動レポートを読み解くキーワードの1つである「洗浄袋数」の意味について解説します。

当社の工程は、製造工程→洗浄工程→検査工程の3工程。各工程から次工程への引き渡しは、右写真のように袋に入れた状態で行っています。



当社の製品は、全てプレス成型品なので、加工時には大量の潤滑油を必要とします。そのため、加工後の製品は、油がたっぷり付着した状態になっており、それを除去する作業が必要となります。

この作業を行うのが、洗浄工程。全ての製品がこの洗浄工程を必ず通るため、当社では、洗浄工程を通過したロット数を「洗浄袋数」として管理することで、日々の生産数等のデータ取りを行っています。

従って、「洗浄袋数」は「製造ロット数」と同義と解釈し、レポートを読み進めて頂ければと思います。

5.環境目標と環境活動計画



電力使用量(目標値：洗浄袋数(調整)原単位(kWh/袋))

中期環境目標(上表)と環境活動計画(下表)
(単位:kWh/袋)

年度	目標値	基準年度比
2017	20.63	2%削減
2018	20.42	3%削減
2019	20.21	4%削減
2020	20.00	5%削減
2021	19.79	6%削減
基準年度	2015年度	
基準年度実績	21.05kWh/袋	

中期環境目標達成のために

(環境管理責任者)

現在、当社生産設備(熱源含む)の全てが電力となっています。
そのため、使用量の大幅な増加は避けられないところですが、原単位ベースで、昨年度は目標を達成しました。

節電と機器更新をうまく組み合わせ、毎年の目標達成を目指して取り組みます。

項目	SDGs	実施責任者
毎月の電力使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。		田辺 栄一
電力使用量削減に繋がる教育を実施する。		田辺 栄一
電力使用量、CO ₂ 排出量削減に貢献可能な機器等の調査及び導入に向けての提案を行う。		田辺 栄一
デマンド目標を夏期275kW、冬期250kWとし、警告表示時の行動を策定及び指揮する。		田辺 栄一
デマンド設定値逸脱防止のため、ピークシフト生産、前倒し生産等を検討、実行、指揮する。		来 満
製造現場(田辺)、洗浄場(斎藤)、2Fフロア(安田)の温・湿度を毎日記録する。		田辺 栄一 斎藤 進 安田 ショセフィーナ

原単位算出式：※基準年度の洗浄袋数を基に調整した電力使用量(kWh)÷洗浄袋数(袋)

※洗浄袋数については19頁、具体的な調整方法については23頁をご覧ください。

灯油使用量(目標値：稼働日原単位(ℓ/日))

中期環境目標(上表)と環境活動計画(下表)
(単位:ℓ/日)

年度	目標値	基準年度比
2017	5.81	6%削減
2018	5.75	7%削減
2019	5.69	8%削減
2020	5.62	9%削減
2021	5.56	10%削減
基準年度	2010年度	
基準年度実績	6.18ℓ/日	

中期環境目標達成のために

(環境管理責任者)

灯油は、主に冬期に2F管理部門において暖房機ファンヒーターの燃料として使用していますが、2016年度目標達成が叶わなかったため、前年目標をそのまま踏襲することとしました。

削減行動も必要ですが、いずれはCO₂排出係数の少ない電力への切替が必要と考えます。

項目	SDGs	実施責任者
毎月の灯油使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。		三輪 千鶴
暖房機稼働中は重ね着(ウォームピズ)を実施する。		全従業員
暖房機の温度調整機能を活用し、「中」以下での運転を励行する。		三輪 千鶴

灯油使用量原単位算出式：使用量(ℓ)÷当月の稼働日数(日)

5.環境目標と環境活動計画



来ハトメ工業株式会社

LPG使用量(目標値：稼働日原単位(kg/日))

中期環境目標(上表)と環境活動計画(下表)

(単位:kg/日)

年度	目標値	基準年度比
2017	2.80	7%削減
2018	2.77	8%削減
2019	2.74	9%削減
2020	2.71	10%削減
2021	2.68	11%削減
基準年度	2010年度	
基準年度実績	3.01kg/日	

中期環境目標達成のために

(環境管理責任者)

当社では、LPGを湯沸器の熱源、フォークリフトと金型焼入れ用バーナーの燃料として使用しています。

年間500kg前後の使用量ですが、当然、使用時にはCO₂が発生します。そのため、削減活動とは別に、長期的には排出係数のより低い電力への変更も検討すべきと考えます。

項目	SDGs	実施責任者
毎月のLPG使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。	 	山崎 洋幸
フォークリフトのエコドライブに関する啓発教育を行う。	 	来 淳一郎 加茂 隆弘
フォークリフト啓発ポスターの見直しを行う。	 	加茂 隆弘
フォークリフトガス単独にての「見える化」を実施する。		山崎 洋幸 宮本哲次
手洗い時瞬間湯沸器使用禁止期間を設定し、事前啓発と効果の検証をそれぞれ行う。	 	山崎 洋幸
冬期の瞬間湯沸器のガス、水量を設定し、事前遵守啓発と事後の効果検証をそれぞれ行う。	 	山崎 洋幸

LPG使用量原単位算出式：使用量(ℓ)÷当月の稼働日数(日)

ガソリン使用量(目標値：総量(ℓ))

中期環境目標(上表)と環境活動計画(下表)

(単位:ℓ)

年度	目標値	基準年度比
2017	3,205	7%削減
2018	3,171	8%削減
2019	3,137	9%削減
2020	3,102	10%削減
2021	3,068	11%削減
基準年度	2010年度	
基準年度実績	3,447ℓ	

中期環境目標達成のために

(環境管理責任者)

社用車(2台)の燃料として使用されているガソリン。2016年の車両更新時1台がハイブリット車となって以降、使用量は大きく減少。更に近日中にもう一台も車両更新の予定です。

車両更新にあたりエコカーが選定されることをひそかに期待しています。

項目	SDGs	実施責任者
毎月のガソリン使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。	 	来 尊重
効果的なエコドライブ方法に関する啓発教育を行う。	 	来 尊重
社内のハイブリッド車所有者を取材し、ハイブリッド車に特化した啓発教育を行う。	 	来 尊重
実車によるエコドライブ乗車体験実習を行う。	 	来 尊重

5.環境目標と環境活動計画



事業系一般廃棄物排出量(目標値：総量(kg))

中期環境目標(上表)と環境活動計画(下表)
(単位:kg)

年度	目標値	基準年度比
2017	1,759	2%削減
2018	1,741	3%削減
2019	1,723	4%削減
2020	1,705	5%削減
2021	1,687	6%削減
基準年度	2014年度	
基準年度実績	1,795kg	

中期環境目標達成のために

(環境管理責任者)

2015年度未達となった反省を受け、ゴミ箱の分別表示の一層の強化や廃棄物関連の啓発教育を実施するなどの新たな策を打って臨んだ2016年度は、見事目標達成。

全員が分別等の高い意識を持つことが達成のためには不可欠な分野。そのための啓発を継続し、意識の維持に努めます。

項目	SDGs	実施責任者
毎月の事業系一般廃棄物排出量を記録し、各月毎の見直しを行う。		加茂 隆弘
工程内検査にて使用するウエスについて、洗浄リユースの運用とその指揮を行う。		加茂 隆弘
ビニールの回収箱を設置し、同時にリユースへの協力の呼びかけを行う。		加茂 隆弘
廃棄物排出削減に繋がる教育を実施する。		加茂 隆弘

産業廃棄物(廃ウエス)排出量(目標値：総量(kg))

中期環境目標(上表)と環境活動計画(下表)
(単位:kg)

年度	目標値	基準年度比
2017	1,746	3%削減
2018	1,728	4%削減
2019	1,710	5%削減
2020	1,692	6%削減
2021	1,674	7%削減
基準年度	2013年度	
基準年度実績	1,800kg	

中期環境目標達成のために

(環境管理責任者)

2016年度は、特に10月の製造ラインのオイル全交換実施時、大量の廃ウエスを使用したことが響き、9,030kgという桁違いの廃ウエス排出量を記録してしまいました。

生産量増加を隠れ蓑とし、削減意識は後退傾向。担当者と協力し、こうした意識低下を断ち切るための地道な活動を続けていきます。

項目	SDGs	実施責任者
毎月の廃ウエス排出量を記録し、各月毎の見直しを行う。		セノ リト アンジェロ
「見える化」ボードの内容を定期更新し、排出量削減啓発を行う。		セノ リト アンジェロ
廃ウエスと事業系一般廃棄物が正しく分別されているかを確認し、不備がある場合は分別を行う。		セノ リト アンジェロ 越川 達也

5.環境目標と環境活動計画



【有価物】紙くずリサイクル量(目標値:リサイクル率(%))

中期環境目標(上表)と環境活動計画(下表)
(単位:%)

年度	目標値	基準年度比
2017	31.64	6%向上
2018	32.64	7%向上
2019	33.64	8%向上
2020	34.64	9%向上
2021	35.64	10%向上
基準年度	2010年度	
基準年度実績	25.64%	

中期環境目標達成のために

(環境管理責任者)

昨年度、オイル交換時に産廃を中心とした多くの廃棄物が出された影響でリサイクル率算出のための分母が大きくなったことから、残念ながら目標未達という結果に――。

紙くずは有価物。ごくわずかながら行動がそのまま利益となります。それを全員に理解してもらうことが大きなカギとなりそうです。

項目	SDGs	実施責任者
毎月の紙くずリサイクル量を記録し、各月毎の見直しを行う。		有山 浩一郎
カゴ台車による業者への運搬の指示と同方法定着のための指揮を行う。		有山 浩一郎
紙と事業系一般廃棄物の分別が正しくできているか、毎日確認する。		パート従業員

リサイクル率算出式：紙くず(kg)÷(事業系一般廃棄物(kg)+産廃(kg)+紙くず(kg))×100

レポートを読み解くためのキーワード解説

Ⅱ 「洗浄袋数(調整)原単位」とは？

洗浄袋数原単位の「大きな欠点」

洗浄袋数(製造ロット数と同義、20頁解説①参照)を原単位として用いることは、一見、大変理に適っているように思われます。

ところが、活動を進めていくうち、この方法には、一つの「大きな欠点」があることが明らかになってきました。

複数のロット入数のパターンがあり、売れ筋製品も日々変化するのが当社製品の特徴。そのため、入数の平均が年によって大きく変化してしまうのです。洗浄機の洗浄剤(炭化水素)の様に、機械に通したロット数と稼働時間が比例関係にあるものであればそのまま原単位としても問題ありません。しかし、入数によって生産の負荷が大きく変わる電力などについては、ロット入数の平均が基準年のそれと大きく異なってしまう場合には、正確に比較できないということが運用を重ねるうちに分かってきたのです。

洗浄袋(調整)原単位の誕生

こうした欠点を改善すべく、右の手順にて1ロット当たりの製品入数を基準年度と合わせるための調整をすることで、比較の精度を向上させる手法を、当社代表者が考案。2012年度より電力、潤滑油、廃アルミの3項目にて運用を開始し、現在に至っています。

洗浄袋原単位調整方法

潤滑油使用量を例として説明します。

項目	基準年度	当月実績
使用量(ℓ)	28,108	2,000
洗浄袋数(袋)	30,351	2,549
製造数(万個)	267,700	16,851

i) $\frac{\text{当月洗浄ロット}}{\text{当月製造数}} = \text{製品1個当たり袋数}$ を計算する。

$$\frac{2,549 \text{袋}}{16,851 \text{万個}} \div 0.00001513 \text{(袋/個)} \text{---①}$$

ii) 調整(1)の値を計算する。

$$\text{調整(1)} = \text{①} \div \left[\frac{\text{基準年洗浄袋数}}{\text{基準年製造数}} \right]$$

$$0.00001513 \div \frac{30,351 \text{袋}}{267,700 \text{万個}}$$

$$0.00001513 \div \frac{30,351 \text{袋}}{267,700 \text{万個}}$$

$$\div 1.33 \text{---②}$$

iii) 調整(2)の値を計算する。

$$\text{調整(2)} = \{1 - (\text{②} - 1)\} \times \text{当月使用量}$$

$$\{1 - (1.33 - 1)\} \times 2,000 \text{ℓ} = 1,340 \text{ℓ} \text{---③}$$

iv) 調整後原単位を計算する。

$$\text{調整後原単位} = \text{③} \div \text{当月製造数}$$

$$1,340 \text{ℓ} \div 2,549 \text{袋} \div 0.53 \text{ℓ/袋}$$

(基準年原単位)

$$28,108 \text{ℓ} / 30,351 \text{袋} \div 0.93 \text{ℓ/袋}$$

5.環境目標と環境活動計画



来ハトメ工業株式会社

【有価物】 廃アルミ排出量(目標値:洗浄袋数(調整)原単位(kg/袋))

中期環境目標(上表)と環境活動計画(下表)
(単位:kg/袋)

年度	目標値	基準年度比
2017	9.03	7%削減
2018	8.93	8%削減
2019	8.84	9%削減
2020	8.74	10%削減
2021	8.64	11%削減
基準年度	2010年度	
基準年度実績	9.71kg/袋	

中期環境目標達成のために

(環境管理責任者)

紙くず同様有価物。こちらの方は排出量が多く、単価も高いため、当社にとって大変重要な収入源となっています。

削減すべきは不良品などによる無駄な部分。いくら優秀な有価物とは言え、スクラップは良品の1割程度の価値しかないことを全員が認識し、作業しなければなりません。

項目	SDGs	実施責任者
毎月の廃アルミ排出量を記録し、各月毎の見直しを行う。		加藤 直
材料台のグリースを3ヶ月毎に交換する。		加藤 直
金型の後ろにカケラがあるかどうかの確認を行う。		井出 学
缶開けルール徹底のための啓発活動を行い、その効果を検証し、必要があれば指導を行う。		加藤 直
正しい材料つなぎ方法についての講習を行う。		井出 学
材料つなぎ教育の効果について、テスト形式にて検証を行い、問題があれば指導を行う。		井出 学
ライン別、担当者別の不良率の「見える化」を実施する。		井出 学

廃アルミ排出量原単位算出式：※基準年度の洗浄袋数を基に調整した排出量(kg)÷洗浄袋数(袋)
※洗浄袋数については19頁、洗浄袋数の調整方法については23頁をご覧ください。

レポートを読み解くためのキーワード解説 Ⅲ 「材料つなぎ教育」とは？

「材料つなぎ作業」とは？

当社では、コイル状のアルミ材料をプレス成形し、製品を製造しています。

プレス機は、通常自動運転状態ですが、材料がなくなったとき、人の手による材料交換作業(つなぎ)が必要となります。

「材料つなぎ作業」とは、この材料交換作業のこと。実はこの作業、単なる材料交換の域を超えた、とても高度な技術と慎重さが要求される作業なのです。

スタートは、2012年度

EA21認証取得後2年目の2011年、思わぬように成果が上がらなかった廃アルミ削減。こうした苦境を打破すべく、担当者より「歩留まり向

上のために材料つなぎ作業の基本を教育する機会を作ってみてはどうか」という提案が。これが見事実現し、2012年4月、「材料つなぎ教育」と銘打った実地教育がスタートしたのです。

成果は、いきなり表れた!!

実施初年度に原単位ベースで約2割の廃アルミ削減を達成。これにより、疑いようのない成果を手にした「材料つなぎ教育」。以降様々な進化を遂げながら、開始から7年を経た今でも、「廃アルミ削減のメイン活動」として、輝きを放ち続けています。

右写真：開始当初の材料つなぎ教育の様子(2012年)



5.環境目標と環境活動計画



来ハトメ工業株式会社

水使用量(目標値：月稼働時間原単位(m³/h))

中期環境目標(上表)と環境活動計画(下表)
(単位:m³/h)

年度	目標値	基準年度比
2017	0.213	1%削減
2018	0.211	2%削減
2019	0.209	3%削減
2020	0.206	4%削減
2021	0.204	5%削減
基準年度	2015年度	
基準年度実績	0.215m ³ /月稼働時間	

中期環境目標達成のために

(環境管理責任者)

当社における水使用は、そのほとんどが従業員の日常生活に使用されるものなので、稼働時間により使用量が大きく変わります。そのため、昨年度より評価方法を総量評価から稼働時間原単位に改めました。

高水準の節水意識を維持、向上させるための取組が今後も必要と考えます。

項目	SDGs	実施責任者
毎月の水使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。		宮本 哲次
節水のための啓発教育を実施する。		宮本 哲次
雨水タンクの水を補助手洗い用に使用する。また、その他の用途の利用を検討する。		宮本 哲次
漏水、無駄遣い等の注意喚起のため、毎週水曜日に水道メーターを確認し、速報値を掲示する。		宮本 哲次
節水ポスターを実状に即したものに更新、掲示する。		宮本 哲次

水使用量原単位算出式：使用量(m³)÷月稼働時間(h)

グリーン調達(目標値：グリーン調達率(%))

中期環境目標(上表)と環境活動計画(下表)
(単位:%)

年度	目標値
2017	81%以上
2018	82%以上
2019	83%以上
2020	84%以上
2021	85%以上

中期環境目標達成のために

(環境管理責任者)

2016年度未達の反省を受け、様々な角度から分析を行い。多くの問題点を抽出しました。

問題点を修正しながら取り組んだ2017年。まずは、その結果が楽しみです。

項目	SDGs	実施責任者
毎月のグリーン調達率を記録し、各月毎の見直しを行う。		福田 則子
物品購入時、カタログによりグリーン調達品を選別し、優先購入する。		福田 則子

5.環境目標と環境活動計画



化学物質(炭化水素)使用量の削減(目標値：洗浄袋数原単位(ℓ/袋))

中期環境目標(上表)と環境活動計画(下表)
(単位: ℓ/袋)

年度	目標値	基準年度比
2017	0.47	1%削減
2018	0.46	2%削減
2019	0.46	3%削減
2020	0.45	4%削減
2021	0.45	5%削減
基準年度	2015年度	
基準年度実績	0.47 ℓ/袋	

中期環境目標達成のために
(環境管理責任者)

2016年度未達。未達の原因は、製品表面の汚れ付着防止のため、洗浄機及び洗浄液の管理方法を変更し、それにより炭化水素の使用量が増加したことによるものです。

顧客の品質要求を満たすための措置で、この増加はやむを得ません。従って今年度は、現状把握に主眼を置き行動すべきと考えます。

項目	SDGs	実施責任者
毎月の炭化水素使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。		斉藤 進
洗浄機の始業時点検及び定期メンテナンスを行う。		来 淳一郎 来 博行

炭化水素使用量原単位算出式：使用量(ℓ) ÷ 洗浄袋数(袋)

化学物質(ラタック)使用量の削減(目標値：洗浄袋数(調整)原単位(ℓ/袋))

中期環境目標(上表)と環境活動計画(下表)
(単位: ℓ/袋)

年度	目標値	基準年度比
2017	0.87	6%削減
2018	0.86	7%削減
2019	0.86	8%削減
2020	0.85	9%削減
2021	0.84	10%削減
基準年度	2010年度	
基準年度実績	0.93 ℓ/袋	

中期環境目標達成のために
(環境管理責任者)

2016年度未達。すでに何度か登場しているオイル交換作業時に、工場内に循環していた全ての潤滑油を一旦全て廃棄したことが、未達に終わった最大の原因です。

生産量増加に伴い、使用量は増加傾向。達成のためには、ポンプの管理不備等の人的ミスをいかに無くすかがカギとなりそうです。

項目	SDGs	実施責任者
毎月のラタック化合物使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。		来 淳一郎
スラッジ浄化装置についての検討を行う。		来 淳一郎

潤滑油使用量原単位算出式：※基準年度の洗浄袋数を基に調整した使用量(ℓ) ÷ 洗浄袋数(袋)

※洗浄袋数については19頁、具体的な調整方法については、23頁をご覧ください。

化学物質(有害化学物質取扱いの禁止)

項目	SDGs	実施責任者
社内にて使用する化学物質のSDS最新版を年1回入手し、それを管理する。		石原 隆雅
入手したSDS最新版のコピーを、その化学物質の使用場所に設置する。		宮本 哲次
社内にて使用する化学物質が法令類に非該当であるかを調査する。		石原 隆雅
社内使用化学物質の性状、有害性及び事故時の対応に関する教育を実施する。		宮本 哲次 山崎 洋幸

5.環境目標と環境活動計画

その他の環境活動(環境への取組の継続的改善)

取組内容	SDGs	実施責任者
各項目担当者から提案されるエコ替え提案について検討し、効果的且つ導入可能と判断されるものについては、その導入を決定する。	 	来 満 来 昌伸
各種環境系資格(危険物取扱者、eco検定等)、労務系資格(フォークリフト運転技能講習等)の案内と資格取得の支援を行う。		来 満 来 昌伸
QC会議時にeco検定講習を実施する。		来 博行
各種環境系セミナー情報を入手し、その案内を行う。		石原 隆雅

その他の環境活動(事業活動に適用される環境法規制等の遵守)

取組内容	SDGs	実施責任者
事業活動内に該当する法令の改正状況を年一回調査し、改正あるものについては法令ファイルの入れ替えを行う。		石原 隆雅
工場稼働時の敷地境界における騒音の状況を確認し、記録する。	 	井出 学
エアコン室外機の点検を行う。	 	越川 達也
環境関連法規遵守のための教育又は教育効果確認のためのテストとそのフォローを行う。	 	石原 隆雅

その他の環境活動(生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組)

取組内容	SDGs	実施責任者
生物多様性の保全と持続可能な取組に関連する教育を行い、実施状況を記録する。	 	石原 隆雅
社内使用の紙製品は原則FSC認証品を使用するものとし、切替がなされていないものについては順次切替を行う。	 	福田 則子
会社に接する用水路の定点撮影を行う。	 	石原 隆雅
定点撮影の結果の分析を行う。	 	石原 隆雅

5.環境目標と環境活動計画



来ハトメ工業株式会社

その他の環境活動(環境教育・訓練の実施)

取組内容	SDGs	実施責任者
製造現場の作業に関連付けた形での環境教育を毎月実施し、実施状況の記録及び実施後のフォローを行う。		来 淳一郎
2F作業現場の業務に即した環境教育を毎月実施し、実施状況の記録及び実施後のフォローを行う。		佐々木 勝
備品に対するコスト意識、節約意識向上のため、各備品の価格表記を行い、その管理を徹底する。		大小堀 レオニラ

その他の環境活動(環境教育・訓練の実施(緊急事態の想定))

取組内容	SDGs	実施責任者
火災、地震避難訓練の事前準備及び実施指揮とその後のフォローを行う。		佐々木 勝
製造現場の油漏出訓練の実施の事前準備及び実施指揮とその後のフォローを行う。		山崎 洋幸
火災、地震時の心構えに関する教育を実施する。		佐々木 勝
八潮市防火協会主催の消火訓練の案内と当日の指揮を行う。		来 昌伸 佐々木 勝

来ハトメ環境トピックス2017

④学びの意欲は今年も健在～2017年度資格試験合格者の声～

強く根付いた「学びの意欲」

当社で使用している潤滑油や炭化水素は、消防法上の危険物。それなのに、それらを取り扱う有資格者がいない——。恥ずかしながらこれほどひどい状態だったEA21認証取得当初の当社において、やむにやまれぬ必要性(と審査人からの強烈なプレッシャー)に迫られ、危険物取扱者試験への挑戦者を募り、初の合格者を輩出したのが2011年の10月。

それからはや7年近く経とうとしている今なお、危険物取扱者をはじめ、eco検定、公害防止管理者といった環境系の資格から、電気工事士二種等の労務系資格への挑戦者、合格者を毎年輩出する様な状態へと大変貌！

2017年度も
公害防止管理者(水質3種)
電気工事士二種

の合格者が新たに誕生!!

2017年度合格者の声

宮本 哲次さん(電気工事士二種合格)の声
かねてより環境活動の一環として物を大切に、長く使うことの必要性を感じていました。

そのため製造過程で使用するプレスもできるだけ自社でメンテナンス出来るよう努めています。

しかし維持管理には専門知識も必要なため日々勉強が必要です。まずはその基本となるものからと考えて電気工事士の勉強を始めることとしました。引続き知識の幅を広げ、今後のメンテナンスに生かしてゆきたいです。



宮本 哲次さんプロフィール

2007年入社、2017年12月～主任。技術者として主に金型製造、修理を担当。特に設備、プレスの電気系統の保守・修理に強い。過去に、危険物取扱者(乙四)にも合格、エコフィールでもある。

5.環境目標と環境活動計画



来ハトメ工業株式会社

その他の環境活動(地域貢献)

取組内容	SDGs	実施責任者
八潮市防火協会主催の環境ボランティア活動への参加及び参加の指揮を行う。	11 持続可能なまちづくり 16 平和と公正	来 昌伸
QC会議時に環境ボランティア実施状況の報告を行う。	11 持続可能なまちづくり 16 平和と公正	ボランティア参加者
ペットボトルキャップの収集・寄付を通じた社会貢献活動を行う。	1 貧困をなくそう 3 健全な生活と福祉を促進する	来 博行

その他の環境活動(5Sの徹底)

取組内容	SDGs	実施責任者
各グループ毎月1個以上の5S活動を実施する。	4 働きがい、経済成長、社会の持続可能性 5 ジェンダー平等	全従業員
各グループの5Sの実施状況の記録及び掲示を行い、5S活動の活性化を推進する。	4 働きがい、経済成長、社会の持続可能性 5 ジェンダー平等	ボランティア参加者

その他の環境活動(情報開示)

取組内容	SDGs	実施責任者
当社環境活動レポート及び環境活動の状況をホームページにて公開する。	12 持続可能な消費と生産	石原 隆雅

レポートを読み解くためのキーワード解説

④ 「SDGs評価点」の採点ルール

SDGsは「ふり返し」が命

せっかく始めたSDGsも、「内容を知って紐付けが終われば大満足!」では何の意味もありません。

結局のところ、SDGsもEA21やISOなどのマネジメントシステムと同様、「PDCAを回してナンボ」の世界。ですから、目標設定、紐付けの後には定期的な状況の確認と結果の見直しが不可欠! ですよ?

そこで、当社でも、SDGsに紐付けされた2017年度の環境目標、環境活動計画を「当社独自ルール」に従って「ふり返し」を行い、その結果を点数化。これにより環境活動「見える化」を図る試みを、実験的に行ってみることにしました(当レポートがその「実験結果」だと思って頂ければ幸いです)。

次のページからがいよいよ当社の2017年度環境活動の「ふり返し」。今年度レポートにおいては、それぞれの活動について、「SDGs評価点」なるものを付けてみました。

その採点基準は次の通りですので、各ページと併せて御確認頂ければ幸いです。

「SDGs評価点」評価基準

環境関連法規(30~32頁)

10点満点。遵守事項各項目につき遵守されていないものがあつた場合、一項目ごとに△1点。

緊急事態の想定とその対応策(33、34頁)

10点満点。2017年度年初に予定した訓練3項目について、1つ未実施の場合△4点、2つ目以降△3点。

火災・地震の心構えに関する教育については、次の「教育訓練計画」にて評価する。

教育訓練計画(35、36頁)

各教育項目それぞれ10点満点。実施回数にて採点し、計画通り実施の場合満点、未実施の場合は10÷実施予定回数(小数点以下切り上げ)=1回毎の減点のルールに従い、減点する。

項目毎の取組(38~頁)

数値目標があるものについては、目標達成率を点数とする(但し、100%以上10点(満点)、小数点以下切捨て)。

数値以外の目標は実施の場合は満点、未実施の場合は0点とする。

補足

1つの環境活動計画につき2つ以上のSDGsが並存しているものについては、どちらのSDGsも同じ点数であるものとして評価する。

1) 法規制の遵守状況のチェック結果

事業系一般廃棄物、産業廃棄物、PCB関連法の遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
廃棄物処理法	第3条	排出者責任の原則	委託業者の事業系一般廃棄物及び産業廃棄物許可証の写しを受領、確認済。	遵法
	第6条の3 第6項	事業者の一般廃棄物の処理		
	第12条の2 第2項	PCB廃棄物の保管基準	入口に掲示板を設置し、容易に立ち入れないようにPCB廃棄物を囲い、揮発防止のためペール缶に密閉保管。外側にはPCB廃棄物である旨の注意書きも添付(但し、2017年6月に処分完了している)。	
	第12条の2 第6項	特別管理産業廃棄物管理責任者設置の義務	2011年11月9日、越谷環境管理事務所に設置の届出済。	
	第12条の3 第1項	産業廃棄物マニフェストの交付	2017年度計10枚のマニフェスト交付事例あり。全て適正に記入され、保管もされている。また、これらの報告については、2018年4月5日、越谷環境管理事務所に送付、同日受理。	
	第12条の3 第5項	産業廃棄物マニフェストの保存		
	第12条の3 第6項	マニフェストに関する報告書の作成・報告義務		
PCB特措法	第8条	保管等の届出	2017年度分の保管等の届出については、2018年4月5日に越谷環境管理事務所に送付。同日受理され、書類の控えを適正に保管している。	遵法
	第3条 第10条	事業者の責務期間内の処分	PCB汚染物(紙・袋)については、2016年3月3日「安定期等汚染物の処理に関する登録説明会」に参加、同4月5日に搬入荷姿登録のための書類提出、同4月11日登録料振込、2017年1月23日、中小企業者等軽減制度申込書提出、同6月14日搬出完了し、同8月4日最終処分完了(写真は、PCB汚染物搬出作業の様子)。	



6.環境関連法規



来ハトメ工業株式会社

各種リサイクル関連法の遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
資源有効利用促進法	第5条	消費者の義務	2017年度においてはパソコン処分事案は発生していないが、2013年2月の処分時においては、適正に処分を実施。書類も適正に保管している。	遵法
家電リサイクル法	第6条	事業者及び消費者の義務	2017年度においては特定家電の処分事案は発生していない。昨年度以降分のリサイクル券の控えは適正に保管されている。	遵法
自動車リサイクル法	第73条	再資源化預託金等の預託義務	2017年2月に社用車1台を更新。適正に手続きが行われていることを確認。	遵法
フロン排出抑制法	第5条第2項	事業者の義務(簡易点検の実施義務)	2017年5月29日、8月29日、11月30日、2018年2月6日に簡易点検を実施。また、12月25日に実施した省エネ診断時にも診断士による簡易点検を実施。	遵法
	第41条	第一種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	2017年度は、同法の適用事案は発生していないが、2011年度実施時に交付された「回収フロン破壊処理証明書」の保管は適正になされている。	

典型七公害関連法の遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
騒音規制法	第6条	特定施設設置の届出	届出済(平成26年4月10日許可番号0030号)。	遵法
振動規制法	第5条	規制基準の順守義務	未測定(但し、近隣からの苦情は無く、届出時に八潮市役所による検査済)。	遵法
	第6条	特定施設設置の届出	届出済(平成26年4月10日許可番号0030号)。	
八潮市公害防止条例	第17条の1	特定工場設置の許可	届出済(平成22年5月7日許可番号0031号)。	遵法
	第18条の1	特定工場変更の許可	届出済(平成26年4月10日許可番号0030号)。	
	第20条	掲示板の設置	道路沿いの入口に設置されている(写真参照)。	
悪臭防止法	第7条	規制基準の順守義務	臭気を感じることも無く、近隣からの苦情もないことから、当社により住民の生活環境が損なわれていないと判断できる。	遵法



6.環境関連法規



来ハトメ工業株式会社

その他の環境関連法の遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
浄化槽法	第5条	設置等の届出	届出済。	遵法
	第10条	保守点検及び浄化槽の清掃(浄化槽管理者の義務)	3ヶ月毎の保守点検及び清掃を実施。	
	第11条	水質に関する検査(定期点検)	2017年11月28日に実施(判定：おおむね適正)	
八潮市火災予防規則	第10条	火を使用する設備等の設置の届出	炭化水素貯蔵量980ℓのため、少量危険物取扱所に該当。八潮市消防本部に届出済。	遵法
消防法	第11条	危険物取扱者立会いの義務	2018年3月現在、危険物取扱者免状所持者4名。今後、更に増員予定。	遵法
	第12条	保安に関する講習受講義務	2017年度該当者1名。2017年7月20受講完了。	

2) 違反・訴訟の有無

環境法規等の逸脱はありませんでした。

また、過去5年間にわたって、違反や訴訟も1件も発生しておりません。

3) 法規制の遵守状況の評価

関連SDGs	評価点	寸評、その他
	10点	全て「遵法」の状態であったため、満点としました。今後も、セミナー等で法改正情報を入手すること、法規制に関する社内教育を充実させることで、この状態の維持に努めます。

関連SDGs



地震・火災

潤滑油

1) 想定される緊急事態

当社が現在想定している緊急事態は以下の3点です。

- (1) 潤滑油の漏洩
- (2) 地震
- (3) 火災

2017年度は、以上3つの緊急事態を想定した訓練を、下記の通り実施しました。

2) 緊急事態の対応及び訓練状況

潤滑油漏洩時訓練(2017年10月31日実施)

オイル循環用ポンプの単純な操作ミスだけで発生してしまう恐れがある潤滑油の漏洩。2017年度の訓練では、漏洩が発生してしまった場合に操作すべき場所の確認を行いました。



地震・火災発生時訓練(避難訓練、2017年10月31日実施)

通算8回目の避難訓練。今回は特に避難の迅速さに重点を置き、訓練を実施しました。

避難所要時間の推移



2017年度訓練における避難所要時間は58秒。初の60秒切り達成です！



7.緊急事態の想定とその対応策

火災発生時訓練(消火訓練、2017年10月31日実施)

毎年恒例の訓練用水消火器による模擬消火訓練は今回で6回目。

消火器の取扱い方は、もう、お手のもの。これなら実戦も、大丈夫！かな？



八潮市防火安全協会主催消火訓練(2017年10月31日実施)

本物の火の迫りに消火器1本で立ち向かう超実戦的消火訓練に2017年度も参戦。消火剤まみれになりながらも見事消火成功の来 尊重さん(下写真)。ナイスファイトでした!!



3) 緊急事態の対応及び訓練状況の評価

関連SDGs	評価点	寸評、その他
(潤滑油漏洩)   	10点	計画通り訓練を実行できたので、満点としました。潤滑油漏洩は事故が発生するパターンが多く、様々な想定の実戦訓練をする必要があります。どのような事態にも対応できるよう、様々な状況での訓練に今後も取り組みます。
(地震・火災)  	10点	計画通り全ての訓練を行えたので、満点としました。いざ実戦となったときに訓練の成果を生かせるよう、同じ動きを何度も繰り返すことを今後も継続します。

8.教育訓練計画



来ハトメ工業株式会社

1) 環境教育・訓練の概要及び評価

関連SDGs：下表参照

一般教育に関するもの

訓練の内容	SDGs	担当者	実施計画	実施状況	評価
製造現場従業員に対する全般的な環境教育		来 淳一郎	年12回	計画通り	10点
管理部門従業員に対する全般的な環境教育		佐々木 勝	年12回	計画通り	10点
電力に関する教育		田辺 栄一	年6回	年5回	8点
エコドライブに関する教育(座学)		来 尊重	年5回	年3回	6点
エコドライブに関する教育(実技)		来 尊重	年1回	計画通り	10点
廃棄物に関する教育		加茂 隆弘	年3回	計画通り	10点
水に関する教育		宮本 哲次	年3回	計画通り	10点
化学物質に関する教育		宮本 哲次 山崎 洋幸	年3回	年4回	10点
eco検定講座		来 博行	年12回	計画通り	10点
生物多様性に関する教育		石原 隆雅	年12回	年10回	8点

訓練(緊急事態の想定)に関するもの

訓練の内容	SDGs	担当者	実施計画	実施状況	評価
潤滑油漏洩を想定した訓練		山崎 洋幸	年1回	計画通り	10点
地震・火災想定避難訓練		佐々木 勝	年1回	計画通り	10点
地震・火災時の心構えに関する教育		佐々木 勝	年2回	計画通り	10点
八潮市防火安全協会主催消火訓練		来 昌伸 佐々木 勝	年1回	計画通り	10点

環境関連法規制の教育に関するもの

訓練の内容	SDGs	担当者	実施計画	実施状況	評価
環境法規制遵守のための教育		石原 隆雅	年6回	年2回	3点

8.教育訓練計画



2) 主な環境教育・訓練の取り組み事例

エコバックは本当にエコ？(廃棄物削減のための教育)

2017年度に実施した環境教育の中で、受講者から、「最も印象に残った」という感想が多かったのが、2017年11月実施の廃棄物削減のための教育の内、「エコバックは本当にエコ？」の回。

誰もが信じて疑わなかった「エコバックの使用＝エコ」は実は間違いで、1度もらったレジ袋をリユースすることが本当のエコである、という真実。これが多くの受講者の心に深く刻みこまれたことが、下の感想からもうかがい知ることができましよう。

以下、受講者の感想より

- 思いもしなかったことを教えて頂いた。
- 何がエコなのか、何がエコじゃないのか考えさせられた。

■エコバックは本当にエコ？

今、エコバックはどれくらい普及しているのか、リサーチによると、およそ5人のうち3人がエコバックを持参している。ただエコバックを持っていないから、有料のレジ袋をもらう人も目立つ。1年間に約300億枚がゴミとして捨てられるレジ袋。その削減を目指して始められたレジ袋の有料化だが、なぜエコバックを使いながらレジ袋を買う人が多いのか。一般家庭を対象に行なったレジ袋に関するアンケート調査では、持ち帰ったレジ袋をどう使うかという質問に対して、約8割が「生ゴミを入れる」「ゴミ箱の内袋に使う」「利用しないで捨てる」と答えた人は1%もいませんでした。いろいろな用途に使用して何度もリユースできるレジ袋は、消費者から重宝がられているのです。また、家庭からレジ袋がなくなったらどうするかと聞いたら、「小さなゴミ袋を買う」と答えた人が約6割。ただ、ゴミ袋よりレジ袋のほうが安い値段で売られていることがあるため、ゴミ袋用レジ袋を購入するということが起きているようです。

エコバックが普及しても、レジ袋の需要が変わらないとなれば、削減の目標は達成できないことになる。それ以上に、ゴミ袋がレジ袋に取って代わることは、環境にとって悪影響・自治体から指定されるゴミ袋はサイズが大きく、レジ袋にくらべて、使用するポリエチレンの量が多い。ポリエチレンの原料は石油。自治体指定のゴミ袋に使われる石油の量は、レジ袋のおよそ3倍です。

ちなみに日本人が使う石油のうち、レジ袋を作るために使用しているのは微々たる量。たとえば日本からヨーロッパに10日ほど旅行に行くことに使われる石油の量は、レジ袋を300年間使う分に相当する。旅行を1回我慢したほうがよほどエコなのです。エコバックのうち、ポリエステル製のものにはエコではないという意見もある。製造過程で排出されるCO2の量を比べると、エコバックはレジ袋の約50倍。エコバックの原料であるポリエステル生地を作る時、たくさんのCO2が排出されます。1枚あたりの重量がエコバックのほうが大きいからです。エコバックを三日坊主で使うだけだったり、何度も買い換えたりすれば、かえってレジ袋をリユースするほうが環境に優しいのです。「家庭ゴミの6割ほどを占めているのがレジ袋」というデータを見かけることがありますが、これはウソなのです。本当はレジ袋だけでなく、飲料パックや惣菜のパックなどを含めた容器廃棄物全体の数値が6割。加えてこれは容積比で見ただけで、重量比だと容器廃棄物は約23%とグッと減る。しかも、その中でレジ袋が占める割合は0.8%。つまり、家庭ゴミ全体から見ると約2%でしかない。エコバックを持つだけで事足りると思っはいけない。減らすべき家庭ゴミは、まだほかにある。

たとえば、生ゴミの水切りをするだけで、ゴミ焼却にかかるエネルギーは大きく抑えられる。食べ残しを減らすなど、簡単に効果大きいゴミ削減のやり方もある。シンボルとしてレジ袋削減を唱えるのはいいですが、それだけでは問題解決にならないのです。

さまざまなエコカーの特徴(エコドライブ講習)

当社で数ある環境教育の中で、常にトップの人気を誇るのが、このエコドライブ講習。

毎回右の様な味のある手書きの資料を用いて、エコカーやエコドライブ技術といった王道テーマはもちろん、そして時には「自動車の最高速ランキング」や「覆面パトカーの見分け方」といった、エコドライブとはおよそ似つかわしくないテーマまでも扱われることも……。しかし、これこそ受講者の心を掴んで離さない秘訣なんですよ、たぶん……。

そんなエコドライブ講習において、講師が特に力を注いで伝えようとしているのが、右の資料にある様な、さまざまなエコカーの特徴。今までの講習に触発てなのか、偶然なのかはさておき、今では会社の駐車場、社用車を含めてほぼエコカー状態になっています！

◎ ハイブリッドカーの事例

ハイブリッド自動車(HV)は2つの動力源を併用する「ハイブリッド(雑種)」と呼ばれる。2つの動力源のうちモーターとガソリンエンジン。電気自動車(EV)はガソリン2つの動力源を効率よく切り替えることで出来る。長いレゾのモーターを蓄電できる。
※ 海外ではハイブリッドエンジンとバッテリーエンジン(ABT)も使用(2020)

◎ プラグインハイブリッドカーの違い

ハイブリッド(HV)とプラグインハイブリッド(PHV)はどちらもエンジンとモーター両方併用。PHVはレゾを切り替える効率よく燃料を使い走行可能。スバルはハイブリッドから充電できるEVも登場。
HVは発電機を走行時必要(2020)。PHVは充電が必要(2020)。PHVは短距離の走行にレゾを必要(2020)。

◎ 電気自動車(EV)と燃料電池車(FCEV)の違い

EVはFCEVは動力源をモーターと燃料電池(レゾ)を併用する。EVは充電が必要(2020)。FCEVは水を補充して走行可能(2020)。

3) 環境教育・訓練に関する取組の評価

関連SDGs	評価点	寸評、その他
前頁参照	9点	単純に、前頁の全項目の平均点です。実施計画に対する実施回数による評価で、講習の内容は評価に含んでいません。将来的には、講習の内容や講習による受講者の理解度も含んだ評価に改める必要があると考えます。

1) 主な環境負荷の実績と達成状況

(1) 基準年度使用(排出)量との比較(総量ベース)

項目	単位	基準年度	使用(排出)量		基準年比増減 (▲:マイナス)
			基準年度	2017年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	2013年度	326,337	203,224	▲123,113
電力	kWh	2015年度	562,463	700,395	137,932
LPG	kg	2010年度	717	501	▲216
ガソリン	ℓ	2010年度	3,447	2,338	▲1,109
灯油	ℓ	2010年度	1,480	2,030	550
事業系一般廃棄物	kg	2014年度	1,795	1,084	▲711
産業廃棄物(廃ウエス)	kg	2013年度	1,800	1,800	0
紙くず(リサイクル率)	%	2010年度	25.64	44.04	18.4ポイント向上
廃アルミ(有価物)	kg	2010年度	294,600	313,520	18,920
上水	m ³	2015年度	405	416	11
炭化水素	ℓ	2015年度	12,600	21,600	9,000
潤滑油(ラタック)	ℓ	2010年度	28,018	34,000	5,982
グリーン調達率	%	2010年度	57.12	81.49	24.3ポイント向上

表中赤太字の項目は、基準年度より増加(悪化)している項目を表します。

(2) 環境目標の達成状況

二酸化炭素排出量に関するもの

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
二酸化炭素排出量	2013年度	総量(kg-CO ₂)	239,529	203,224	達成
電力使用量	2015年度	※1洗浄袋数(調整)原単位(kWh/袋)	20.63	19.49	達成
灯油使用量	2010年度	稼働日原単位(ℓ/稼働日数)	5.81	8.39	未達
LPG使用量	2010年度	稼働日原単位(kg/稼働日数)	2.80	2	達成
ガソリン使用量	2010年度	総量(ℓ)	3,240	2,338.04	達成

廃棄物排出量に関するもの

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
事業系一般廃棄物	2014年度	総量(kg)	1,759	1,084	達成
産廃(廃ウエス)	2013年度	総量(kg)	1,746	1,800	未達
紙くずリサイクル率	2010年度	※2紙くず(kg)/ゴミ総量(kg)×100	31.64%	44.04%	達成
廃アルミ(有価物)	2010年度	※1洗浄袋数(調整)原単位(kg/袋)	9.03	8.72	達成

水使用量

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
水	2015年度	稼働時間原単位(m ³ /月稼働時間(h))	0.213	0.161	達成

化学物質使用量に関するもの

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
炭化水素	2015年度	洗浄袋数原単位(ℓ/袋)	0.47	0.60	未達
潤滑油(ラタック)	2010年度	※1洗浄袋数(調整)原単位(ℓ/袋)	0.87	0.95	未達

グリーン調達

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
グリーン調達	—	グリーン調達率(%)	81%以上	81.49%	達成

※1洗浄袋数(調整)原単位とその算出方法につきましては、当レポート19頁下段「解説」を御参照下さい。

※2ごみ総量(kg)：事業系一般廃棄物(kg)、産廃(廃ウエス)(kg)、紙くず(kg)の合計量となります。

表中赤太字の項目は、目標値未達の項目を表します。

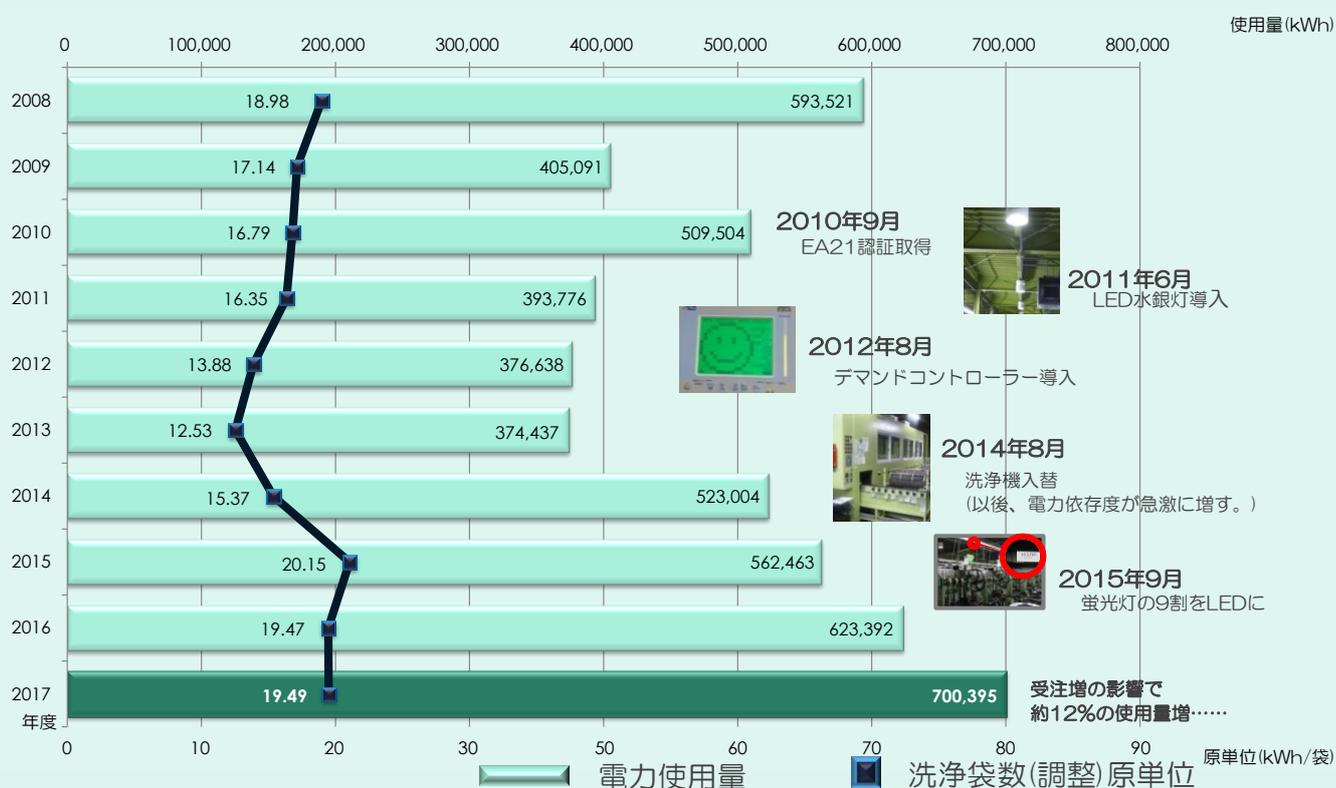
2) 2017年度各項目毎の取組の評価と次年度以降の取組内容

(1) 電力使用量

生産増の影響で、電力使用量は昨年比12%増！
 今や「ほぼオール電化状態」。電力使用は避けて通れない……。
 それでも環境負荷に影響を与えない「秘策」こそ、次に目指す道？



担当：田辺 栄一



2017年度の主な取組、評価、次年度以降の取組内容

2017年度の主な取組

2017年度は、昨年度の取組を踏襲し、デマンドコントローラーを最大限に活用する「デマンド重視の節電」を基本線とし、更に以下の取組を行いました。

電力事業者の切替(2017年11月～)
 切替のポイントはズバリ「CO₂排出係数ができるだけ小さい事業者」であること。

省エネ診断の受診(2017年12月)
 埼玉県のプラットフォーム事業の省エネ診断を受診。
 省エネの専門家から、空調機の維持管理方法や断熱対策等、貴重な指摘を多数頂戴しました。

2017年度電力削減活動の評価

数値目標の達成度 10点(原単位目標達成率105.85%)
 関連SDGs

エコ替え調査・提案

関連SDGs

- 10点(環境教育において実施)
- デマンド目標遵守** 10点(目標275kWに対し291kW、16kW超過) 関連SDGs
- ピークシフトの実施** 10点(昼休憩時等、計画通りに実施) 関連SDGs
- 温・湿度の記録** 10点(各担当者共、毎日実施したことを確認) 関連SDGs

総合評価 : 8点

次年度以降の取組内容

生産が好調に推移している昨今、デマンド目標を275kWとするのは無理があると判断し、2018年度は290kWをデマンド目標として、取組を進めることとします。

電力会社切替によるCO₂削減効果については、今からとても楽しみです。

(2) 灯油使用量

厳冬の影響と残業による稼働時間増が響き、2割強の使用量増に。
省エネ診断の指導内容の実行こそが、今後の削減活動の鍵？



担当：三輪 千鶴



2017年度の主な取組、評価、ふり返り、次年度以降の取組内容

2017年度の主な取組

- 2017年度は、年初に掲げた
- ① 暖房機使用時の重ね着(ウォームピズ)
 - ② 暖房機の出力「中」以下での運転
- の2点を削減のための取組として、削減活動を行いました。

2017年度灯油削減活動の評価

- 数値目標の達成度 関連SDGs
6点(原単位目標達成率69.21%)
- 重ね着の実施 関連SDGs
10点(全員が実施)
- 暖房機の出力遵守 関連SDGs
10点(常に「中」以下で運転)

総合評価 : 8点

ふり返り

2017年度は、前述のような削減活動を実施したものの、その努力むなしく目標達成とはいかなかったばかりか、目標値を大きく下回る結果に終わってしまいました。

その原因としては、冬の寒さが例年以上であったことに加え、需要増に應えるため、夜間の残業が頻繁に行われたことの二点が考えられます。

次年度以降の取組内容

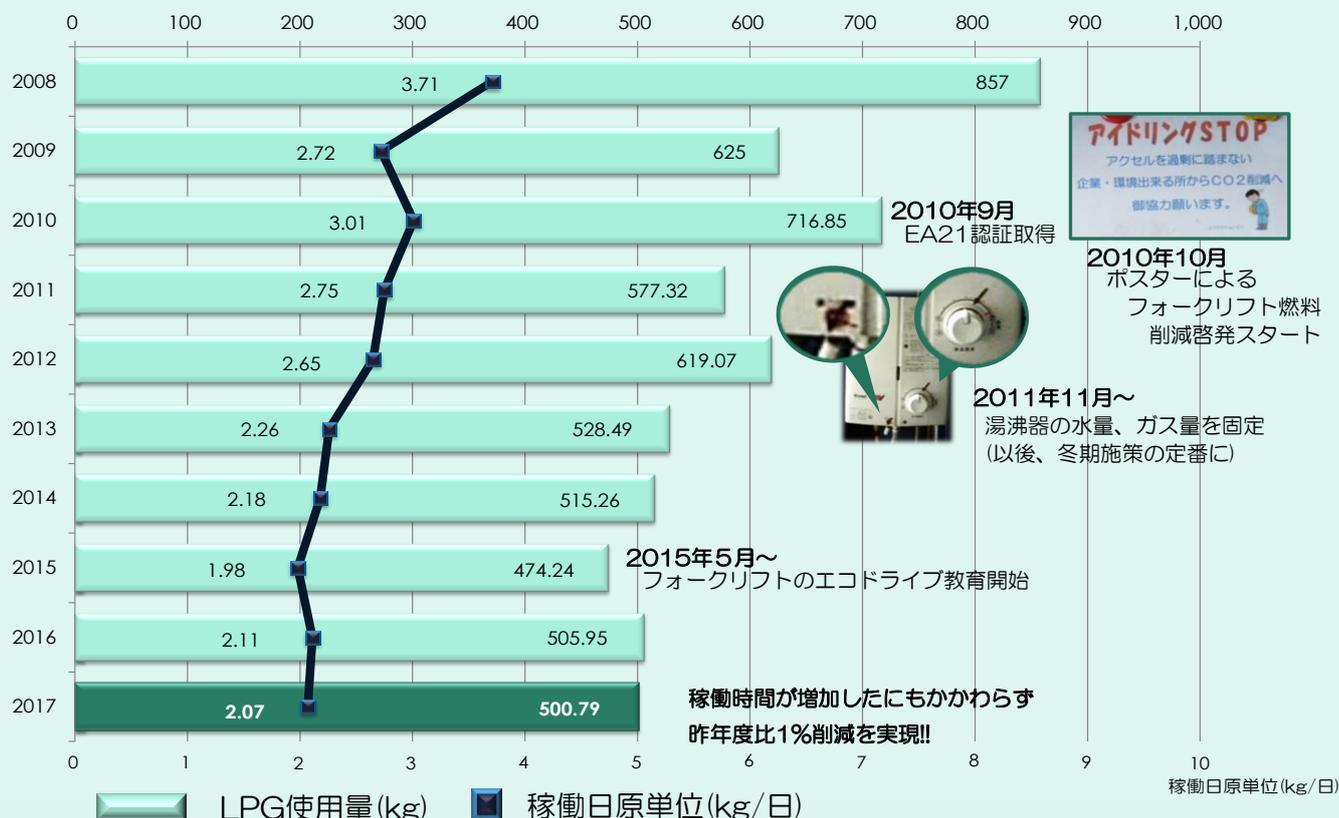
12月に実施した省エネ診断において、石油暖房機のフィルターや熱交換器の汚れは効率を悪化させるという指導を頂きました。そこで、暖房機の使用時期前に当該箇所の清掃を実施することを、次年度の環境経営計画に追加します。

(3) LPG使用量

湯沸器の使用ルール設定とその遵守が、好調維持の牽引役。
しかし、フォークリフトエコドライブ教育は検討の余地あり？



担当：山崎 洋幸
使用量(kg)



2017年度の主な取組、評価、ふり返り、次年度以降の取組内容

2017年度の主な取組

施策の有効性の高さゆえなのか、ここ数年良好な状態が維持できています。

従って2017年度も、夏期の湯沸器使用禁止期間の設定、冬期の湯沸器使用ルール遵守を軸とする従来の施策をそのまま踏襲し、削減活動に取り組みました。

夏期湯沸器使用禁止

関連SDGs



10点(計画通り実施)

冬期湯沸器使用ルールの設定

関連SDGs



10点(計画通り実施)

総合評価 : 7点

2017年度LPG削減活動の評価

数値目標の達成度

10点(原単位目標達成率135.36%)

関連SDGs



フォークリフトエコドライブ教育

5点(計画2回、実施1回)。

関連SDGs



フォークリフト啓発用ポスター見直し

0点(実施せず)。

関連SDGs



フォーク燃料の見える化

10点(計画通り実施)

関連SDGs



ふり返り

一部計画通り実施できなかった項目があったものの、削減の核となる湯沸器使用関係の項目が確実に実施されたことが奏功し、2017年度も良好な状態を保つことができました。

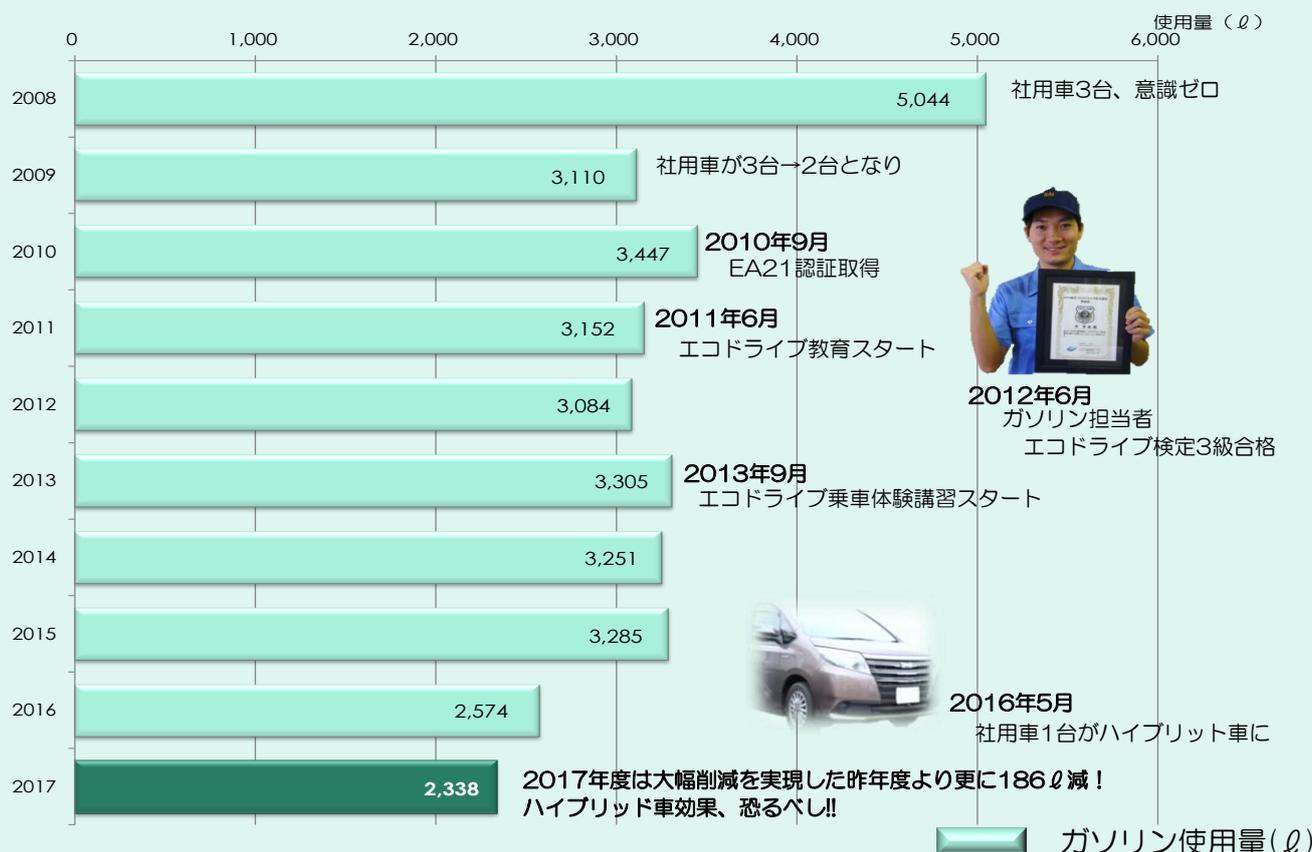
次年度以降の取組内容。

良好な結果が出ていることから、湯沸器関連の施策はそのまま踏襲するものとします。しかし、フォークリフトエコドライブについてはあまり意味がないという意見が多かったことから、次年度は実施を見送ることとしました。

(4) ガソリン使用量

長年の啓発活動が奏功し、遂に社用車のハイブリッド化が実現!!
ハイブリッド車通年使用の初年度となる2017年度の削減効果は?

担当：来 尊重



2017年度の主な取組、評価、ふり返し、次年度以降の取組内容

2017年度の主な取組

エコドライブ教育を取組の中心に据えた活動を当初より継続。2017年度もそれを踏襲し、年4回(計画は5回)の座学によるエコドライブ講習と、年1回の実車によるエコドライブ実技指導を実施しました。

2017年度ガソリン削減活動の評価

数値目標の達成度

10点(原単位目標達成率137.12%)

関連SDGs



※ エコドライブ教育(座学、実技)の評価については、8.教育訓練計画(35,36ページ)を御参照下さい。

総合評価：10点
但し、エコドライブ教育は除く。

ふり返し

2017年度は、当社にとって年間を通じてハイブリッド車を使用する初年度となります。昨年度のガソリン使用量と、社用車が全てガソリン車であった最終年度(2015年度)のそれとを比較すると、その削減効果たるや実に947ℓ。ハイブリッド車の実力を改めて思い知らされる結果となりました。

次年度以降の取組内容

2017年度末、2台ある社用車の内、もう一台もハイブリッド車に更新され、社用車の全車ハイブリッド化が完了しました。

これにより、ガソリン使用量は更に削減されることは間違いなさそうですが、引続きエコドライブとエコカーの魅力に関する啓発教育を続け、従業員が自家用車を購入する際にも間違いなくエコカーを選んでもらえるよう、心に響く啓発活動を引続き行っていきます。

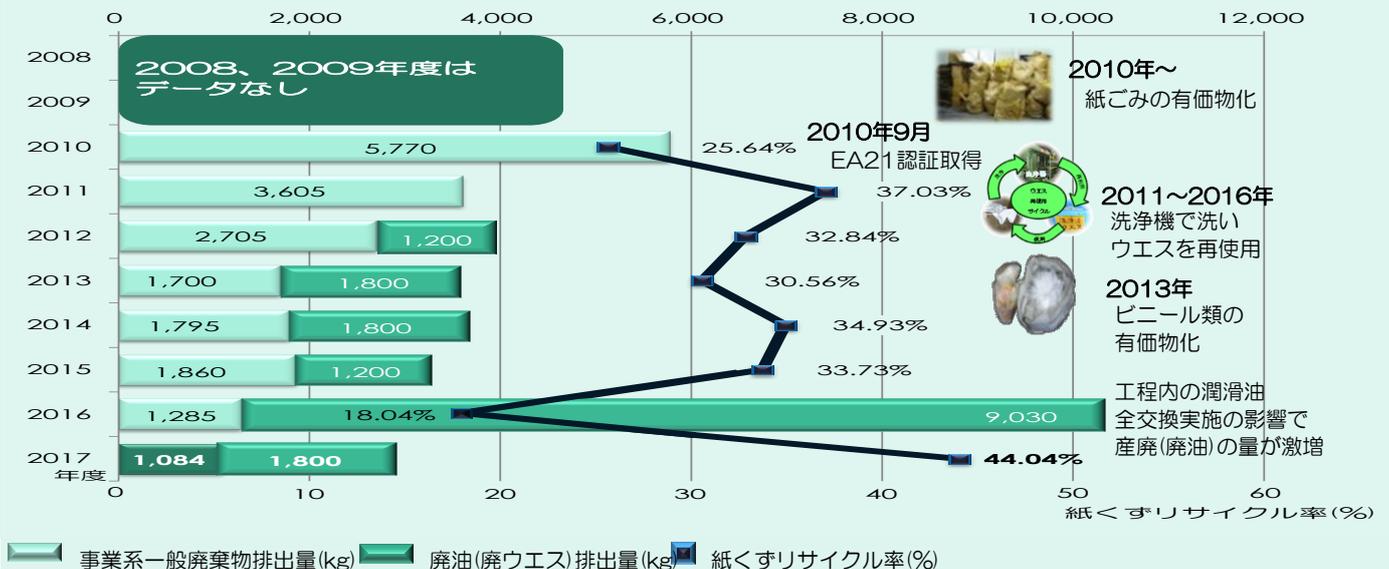
(5) 廃棄物(事業系一般、産廃(廃ウエス)、紙くず(有価物)排出量

紙くずの集積・運搬方法を改めたことで事業系、紙くずとも過去最高の結果に。好成績をもたらす原動力となった「集積・運搬方法」とは？その陰で、あまり振るわなかった廃ウエス。その原因は？



担当：加茂 隆弘(写真左,事業系)、セノ リト アンジェロ(写真中、産廃)、有山 浩一郎(写真右,紙くず)

事業系+産油(廃ウエス)重量(kg)



2017年度の主な取組、評価、ふり返り、次年度以降の取組内容

2017年度の主な取組

年に3回の廃棄物に関する教育の他、廃棄方法に問題があった場合に都度指導するといった活動を行いました。

紙くずについては、数か月に1度、トラックでまとめて廃棄という従来の方法を改め、カゴ台車にて集積し、都度近所の古紙回収業者に運搬する方法(下写真)に改めました。



2017年度廃棄物削減活動の評価

●事業系一般廃棄物関連の取組

- ウエスリユース 関連SDGs 0点(品質問題により禁止に。実施せず)。
- ビニール回収 関連SDGs 10点(計画通り実施、運用)。

●産廃(廃ウエス)関連の取組

- 見える化ボード更新 関連SDGs 10点(計画通り。マメに更新されていた)。

●紙くず(リサイクル・有価物)関連の取組

- カゴ台車運搬への切替 関連SDGs 10点(計画通り。左写真参照)。
- 分別の徹底 関連SDGs 10点(各部門共徹底されており、問題なし)。

総合評価：8点

2017年度廃棄物削減活動の評価

- 数値目標の達成度 関連SDGs 8点
- 10点 (事業系一般、総量目標達成率162.73%)
- 9点 (産廃ウエス、総量目標達成率97%)
- 10点 (紙くず、18.4%向上(目標6%向上))

ふり返り、次年度以降の取組内容

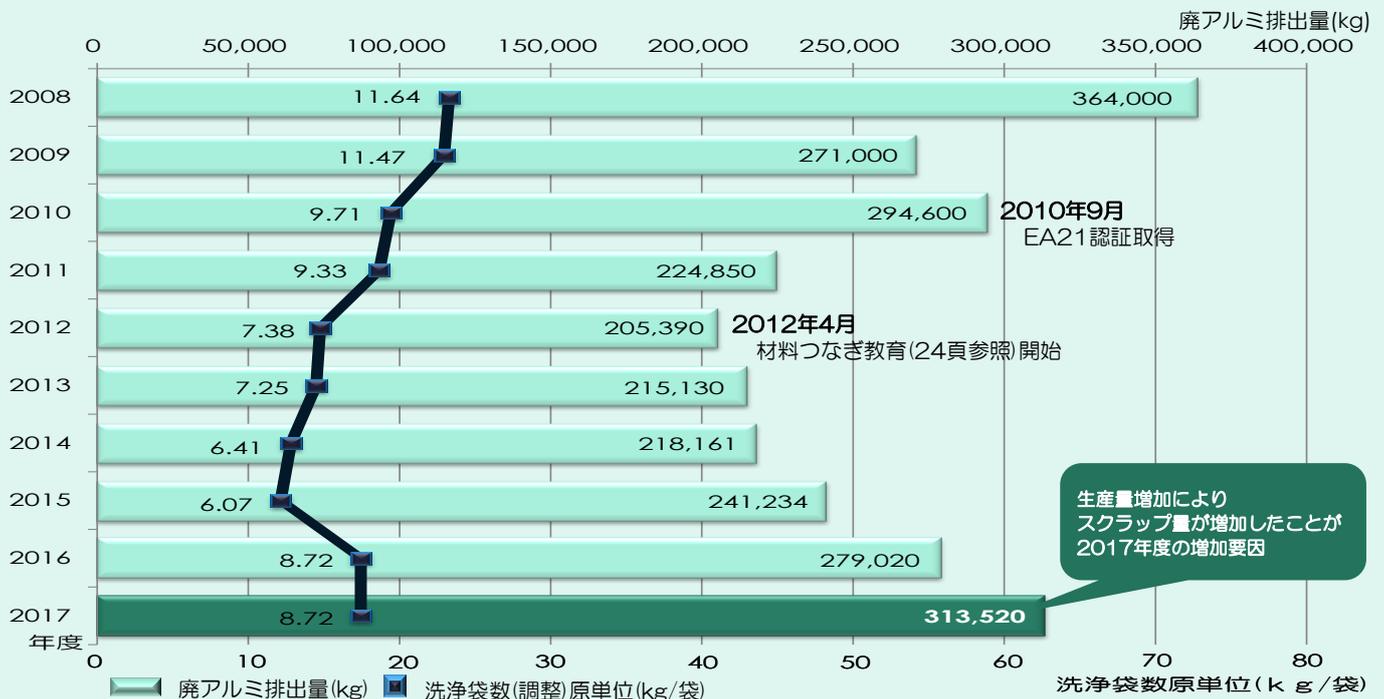
事業系、紙くず共に良好。しかし産廃ウエスは目標未達。その原因は、工場床の美化活動に産廃ウエスを利用していることや洗浄機によるウエスリユースの禁止といった、やむを得ない事情によるものです。従って、次年度も、前年度の取組を踏襲・深化させることを基本線とすることで問題なしと考えます。

(6) 廃棄物(廃アルミ(有価物))排出量、材料歩留まりの向上

生産量が増加したため、スクラップ量も増加。
しかし、原単位は昨年と変わらず、好調を維持！
これも、地道な材料つなぎ教育の成果か？



担当：加藤 直(廃アルミ、写真左)、井出 学(材料歩留まり、写真右)



2017年度の主な取組、評価、ふり返し、次年度以降の取組内容

2017年度の主な取組

不良品を作ることによる無駄な材料使用を防止するため、全作業中最も不良発生に繋がりがやすい材料の交換(材料つなぎ)作業の正しい方法を指導するための教育(材料つなぎ教育)を年10回(計画は年12回)実施。

その他、工程内検査の頻度を上げるための啓発活動と、プレス周りのメンテナンスの定期実施について年間計画を作り取り組んだ他、ライン、担当者別の不良発生状況を「見える化」することで、オペレーターの意識向上を促すことにも取り組みました。

2017年度廃アルミ排出削減活動の評価

数値目標の達成度	関連SDGs	
10点 (原単位目標達成率103.48%)		
プレス周りの点検	関連SDGs	
10点 (計画通り実施)		
工程内検査向上啓発	関連SDGs	
10点 (計画通り実施)		
材料つなぎ教育	関連SDGs	
8点 (計画12回、実施10回)		

ライン・担当者別不良発生状況の「見える化」 関連SDGs

10点 (毎月更新、掲示されていることを確認)

総合評価9点

ふり返し

生産量が増加すれば、製品の抜きカスとしてのスクラップは当然増えるため、廃アルミ排出量が一定量増加してしまうのは至極当然の結果であると言えます。

一方、原単位でみると、2012~15年度比では若干悪い水準ながら、「車載品質」が強く叫ばれるようになった2016年度とは全く同水準であり、しかも年間目標が達成できていることから、現状の廃アルミ削減の活動自体に大きな問題はないものと考えます。

次年度以降の取組内容

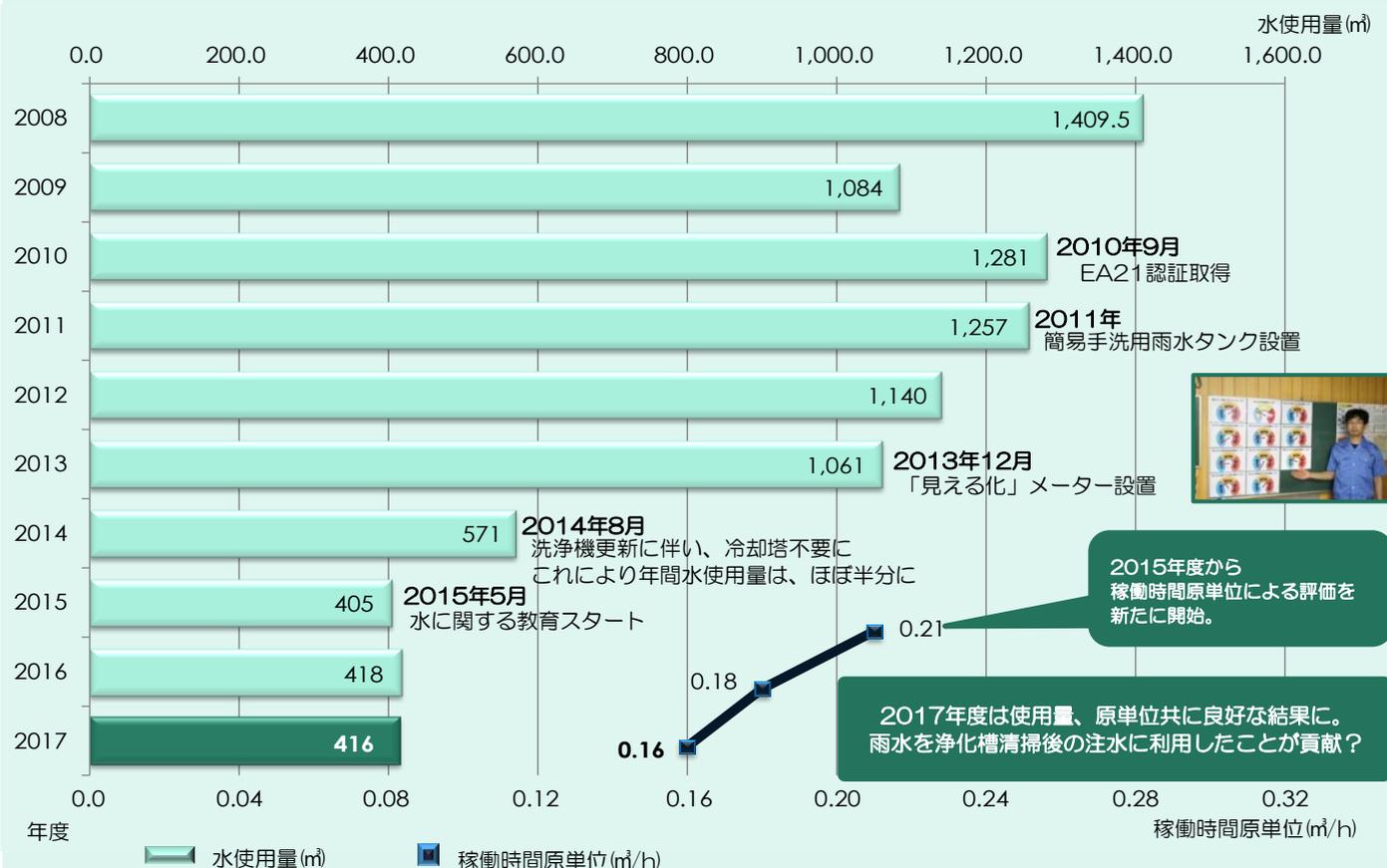
次年度以降は、つなぎ教育と不良発生状況の「見える化」を軸とした現在の活動を継続しつつ、製造技術の向上による「車載品質」への対応と、廃アルミ排出量削減の両方を視野に入れた活動を展開します。

(7) 水使用量

使用量、原単位共に昨年度より良好な結果に。
その要因は、斬新な「雨水の有効利用法」にあり？



担当：宮本 哲次



2017年度の主な取組、評価、ふり返し、次年度以降の取組内容

2017年度の主な取組

節水のための啓発教育(年三回)の他、週に1度の水道メーター目視による漏水チェックなどを行いました。

また、浄化槽の清掃後に必ずしなければならない注水には、雨水タンクの水を使用するという雨水の有効利用を、新たに始めました。

2017年度水使用量削減活動の評価

- 数値目標の達成度 10点 (原単位目標達成率132.2%) 関連SDGs
- 雨水の有効利用 10点 (浄化槽清掃後の注水用の水を雨水に変更) 関連SDGs
- 水道メーター定期確認 10点 (毎週水曜日に実施) 関連SDGs

節水ポスターの更新

0点 (実施せず)

関連SDGs



総合評価7点

ふり返し

環境活動計画にあったポスターの更新を実施しなかったため評価は低めですが、実績は良好。特に、浄化槽清掃後の注水に雨水を用いるというアイデアは素晴らしく、これが前年度より少ない使用量を実現できたことに大きく貢献したのではないかと考えられます。

次年度以降の取組内容

結果が良好であることから、次年度以降も同様の取組を継続します。

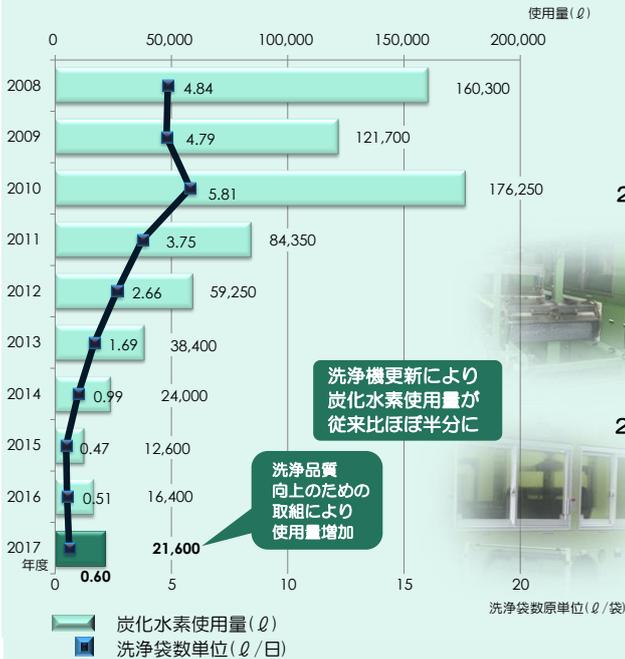
(8) 化学物質(炭化水素、潤滑油)使用量

削減活動よりも顧客が求める化学物質管理への対応が最重要課題。法規制への対応、調達品の管理等、要求は非常に高度だが完璧にこなせば、当社の信頼性向上に大きく貢献するはず!!



担当：斎藤 進(炭化水素、左)、来 淳一郎(潤滑油、右)

炭化水素使用量



潤滑油(ラタック)使用量



2017年度の主な取組、評価、ふり返り、次年度以降の取組内容

2017年度の主な取組

炭化水素

厳格な外観品質が要求される「車載品質」に対応するため、洗浄槽の洗浄頻度や洗浄液の交換頻度を従来よりも多くすることとなりました。

削減とは相反する行動ではありますが、品質要求を満たすためにはやむなしと判断し、実行するに至りました。

潤滑油

毎年季節の変わり目に行っているオイルの粘度変更。例年、徐々に切り替える形で行っていますが、2017年度は洗浄効率を最大限に高めるため、全交換に近い形で実施しました。

2017年度化学物質削減活動の評価

炭化水素

数値目標の達成度 7点 (原単位目標達成率77.36%) 関連SDGs 13

洗浄機定期点検の実施 10点 (計画通りに実施されていることを確認) 関連SDGs 9

潤滑油

数値目標の達成度 9点 (原単位目標達成率92.02%) 関連SDGs 13

スラッジ浄化装置の検討 関連SDGs 9
0点 (実施せず、別の方法を検討)

全般 SDSの管理他 10点 (計画通り実施) 関連SDGs 12, 13

総合評価7点

ふり返り

炭化水素、潤滑油共に品質要求の高度化を優先することで、削減が立ち行かない状況となっています。しかし、顧客要求を満足することこそ当社の使命。使用量削減よりも品質要求に corres pondingすることを優先すべきと考えます。

次年度以降の取組内容

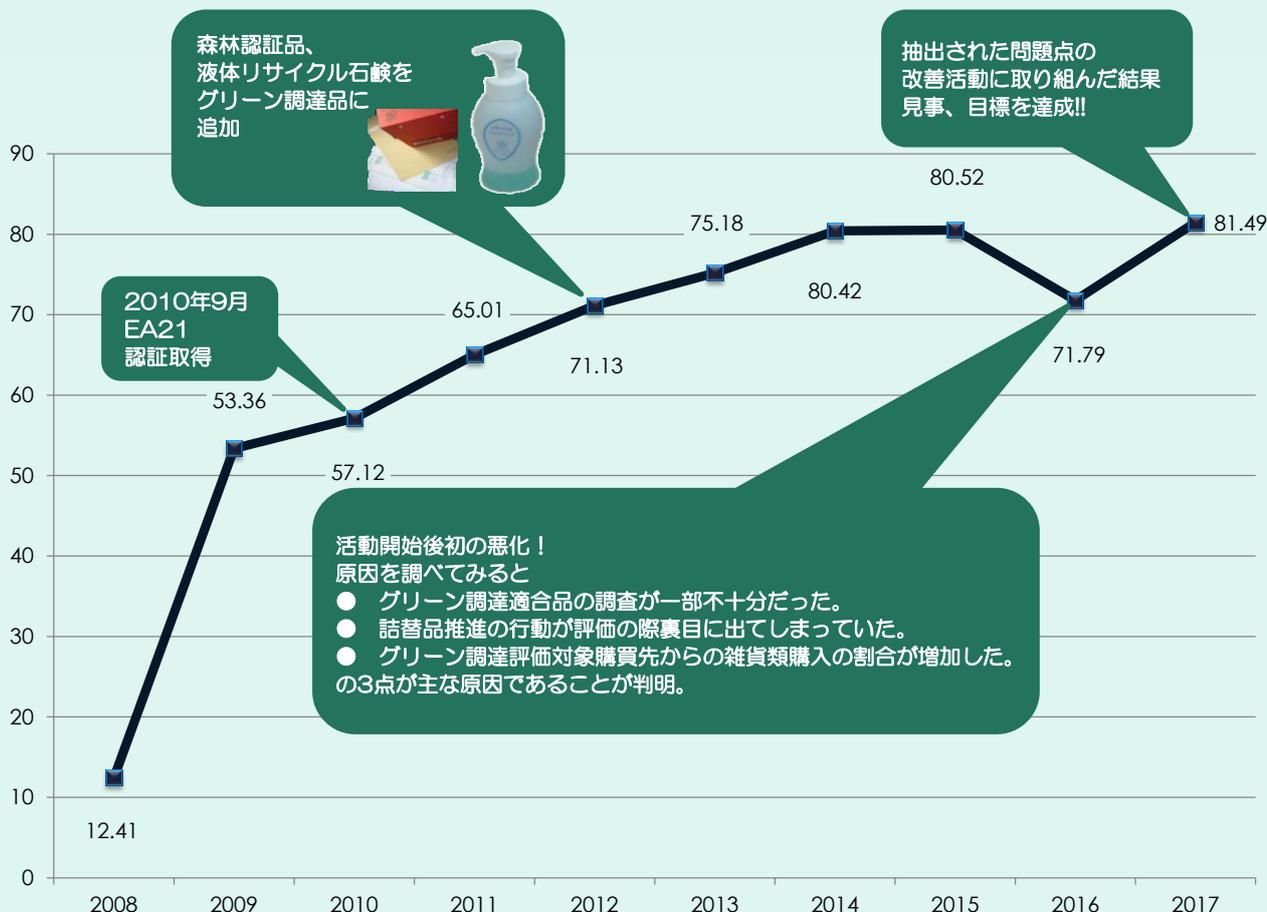
当社のお客様は、化学物質の適正管理を環境活動の最重要項目に位置付けています。従って、当社としても、化学物質使用量の削減と並行し、お客様が求める化学物質の「適正管理」にも注力します。例えば、関連法規制の教育、材料等の含有物質の明確化等を行い、それによりお客様に今まで以上の安心をお届けできればと考えています。

(9) グリーン調達

昨年度の大幅未達の反省を踏まえ、活動を徹底的に見直し。多数の問題点を洗い出し、改善活動に取り組んだ結果、見事目標達成!!



担当：福田 則子



2010年9月
EA21
認証取得

森林認証品、
液体リサイクル石鹸を
グリーン調達品に
追加



抽出された問題点の
改善活動に取り組んだ結果
見事、目標を達成!!

活動開始後初の悪化！
原因を調べてみると

- グリーン調達適合品の調査が一部不十分だった。
- 代替品推進の行動が評価の際裏目に出てしまっていた。
- グリーン調達評価対象購買先からの雑貨類購入の割合が増加した。の3点が主な原因であることが判明。

2017年度の主な取組、評価、ふり返し、次年度以降の取組内容

2017年度の主な取組

活動開始後初の大幅悪化となったことを受け、問題点の洗い出し作業を実施し、上記3点(グラフ中央参照)の問題点を具体的に抽出。

再度の適合品調査を実施し、ノート、油性ペン等新たなグリーン調達商品の選定、日常の筆記時、全ての替え芯がグリーン調達不適合になってしまうボールペンの使用を改め、替え芯もグリーン調達適合品を選定可能なシャープペンシル使用の推奨、固形石鹸をエコマーク認定固形石鹸(右写真)への切替などを実施しました。



2017年度グリーン調達の評価

数値目標の達成度 関連SDGs 10点 (グリーン調達率81.49%、目標達成)
グリーン調達品優先購入 関連SDGs 10点 (確実に実施、昨年度より精度向上)

総合評価10点

ふり返し、次年度以降の課題

問題点の抽出とその対策が奏功し、2年間阻まれ続けていた「グリーン調達率81%の壁」をようやく突破することができました。

次年度は、更に目標を1%上げ、「グリーン調達率82%」に挑むことになります。その達成は困難を極めそうですが、壁にぶつかったときには、今回実施した分析と対策の手法がその突破口となり得るのではないかと考えています。

(10) その他の環境活動

環境への取組の継続的な改善に関するもの

活動施策概略	SDGs	寸評	評価
エコ替え提案についての検討とその実施	7 再生可能エネルギー 12 持続可能な消費と生産	省エネ診断受診。種々の省エネ設備の設置等を実施。	10点
各種資格取得に関する支援	4 質の高い教育をみんなに	2017年度3名が利用。テキスト代、受験料等を会社が負担。	10点
各種環境系セミナー情報の入手と案内の実施	4 質の高い教育をみんなに	リクスアセスメント講習、エコプロ等を案内。	10点

主な取組事例(省エネ診断の実施)

当社環境活動における2017年度最大の反省点はデマンド目標値の大幅な超過。

その反省を受ける形で2017年12月、省エネ診断を受診。プロの目により生産設備、空調機器等の使用状況等が診断され、省エネに繋がる正しい機器類のメンテナンス方法等、まさに「目から鱗」の指導を多数頂きました(右写真：電気釜の使用方法について、診断士から指導を受ける当社工場長)。

また、診断士の指導の下、チラーの排熱を洗浄室の暖房として利用するための開閉式のダクト(写真左下)や、材料置場に人感センサー(写真右下)等の設置も併せて実施。

環境活動を始めてから、不安な思いいっぱいであることが多かった夏。省エネ診断を受診したお陰で、2018年の夏は、少しだけ、楽な気持ちで迎えることができそうです。



生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組に関するもの

活動施策概略	SDGs	寸評	評価
社内使用の紙製品はFSC認証品を使用	12 持続可能な消費と生産 15 陸の豊かさを守ろう	コピー用紙、封筒、名刺用紙などを購入。認証品購入意識高い。	10点
用水路の定点撮影	6 清潔な水と衛生 15 陸の豊かさを守ろう	年4回(1,4,7,10月)に実施。	10点
定点撮影の結果分析	6 清潔な水と衛生 15 陸の豊かさを守ろう	撮影のみ。結果分析はできていない。	0点

主な取組事例(定点撮影)

会社に接する用水路にて2012年から継続して行っています。

しかし、定期的に撮影はしていても、その分析は一切できていないのが現状。周辺環境の把握と改善に繋げるために分析も行うことが今後の課題です。



残念ながら環境は悪化?(左2012年4月、右2017年4月撮影)

地域貢献に関するもの

活動施策概略	SDGs	寸評	評価
環境ボランティア活動への参加	11 持続可能な都市とコミュニティ 15 陸域生態系の保護	毎月参加。	10点
環境ボランティアの実施状況報告	11 持続可能な都市とコミュニティ 15 陸域生態系の保護	QC会議にて、各参加者から毎月報告。	10点
ペットボトルキャップの収集、寄付	1 貧困をなくそう 3 健全なエネルギー	2017年度計7,680個のボトルキャップを収集	10点

主な取組事例(2017年度環境ボランティア活動報告より)

歩道のゴミが本当に減ってきていることを実感しました。ただし、決して0ではないのでこれからも継続してゴミ0を目指して頑張ります。

2017年8月1日 来 尊重

空き地に建物が増えたせいか、ゴミの量が減った気がする。季節柄か、ペットボトル、缶があまりなかった。いいことだと思う。空き地のスペースに粗大ゴミが投棄されていた。非常に残念……。

2018年1月9日 加藤 直



それでも、ゴミは減ってきているんだとか……

5Sの実施に関するもの

活動施策概略	SDGs	寸評	評価
各グループ毎月1個以上の5S活動の実施	4 働きがい、経済成長、社会の持続可能性 5 ジェンダー平等	全グループが毎月実施。	10点
5S実施状況の記録及び掲示	4 働きがい、経済成長、社会の持続可能性 5 ジェンダー平等	掲示板にて毎月活動報告を実施。	10点

主な取組事例(5S掲示板「劇的！ビフォーアフターin来ハトメ活動報告」)

2017年9月、「劇的！ビフォーアフターin来ハトメ活動報告」掲示板の全面リニューアルを実施！

先代が紙(模造紙)製だったのに対し、新掲示板はスチール製(ホワイトボード)と素材も一新！これで、新掲示板が晩年悩まされた経年劣化もなんのその!!でしょう？

更に、5S報告の横には、QC、環境情報の掲示スペースを追加。現在、特に昨年度新たに始めたSDGs情報発信のために有効活用されています。



在りし日の初代掲示板(左)と新掲示板(右)



5S報告の横にはQC、環境情報掲示スペースを追加!!

情報開示に関するもの

活動施策概略	SDGs	寸評	評価
環境活動レポート及び環境活動の状況を公表する	12 13 14 15 16 17	下記参照	10点

主な取組事例(当社の環境情報開示)

その1 自社ホームページによる情報開示

当社ホームページ

URL <http://www.rai-hatome.co.jp>

にアクセス頂き、トップページのニュース(右赤囲み部)から当社レポートをご覧頂けます。

当社ホームページでは、活動開始時のものから最新版に至るまで、全ての環境活動レポートをご覧頂くことが可能です。



その2 CSR図書館.netによる情報開示

企業が発行する環境報告書等を集めた「CSR図書館.net」というサイトがあります。

URL <http://csr-toshokan.net>

にアクセス頂き、報告書検索(赤囲み部分)に「来ハトメ工業株式会社」と入力し、検索ボタンをクリック頂くと、当社環境活動レポートが閲覧可能。

こちらのサイトでは、2015年～2017年までに発行した当社環境活動レポートをご覧頂くことが可能です(2018年版も近日アップして頂く予定です)。



その他の環境活動のふり返し、次年度以降の取組内容

その他の環境活動のふり返し

環境への取組みの継続的改善

プロの目で社内のエネルギー使用についての改善点を指摘頂ける省エネ診断は、受診して大正解！ついつい見過ごしがちな部分に潜むたくさんの「気づき」を与えて頂きました。

生物多様性

定点撮影の結果の分析について、環境活動計画にあるものの全く手が付けられていないことが唯一の課題。

地域貢献

計画にあるものはきちんと実行できていますが、環境ボランティアの参加者が2013年に6名になって以降増えていないことが、やや残念なところ。

5Sの実施

各班共、主体的に行動し、毎月様々な5S活動が実行されています。

情報開示

webによる情報開示の他、2017年度は有難いことに、環境セミナーにおける事例発表の機会を4度も頂くことができました。

次年度以降の取組内容

省エネ診断の受診を活動計画に含めたことを除き、基本的には前年度の取組をそのまま踏襲することとします。定点観察の結果分析、ボランティア参加者増については、最善策の考案と試行に努め、本年度同様という事態の回避に努めます。

3) CO₂排出量で見る2017年度環境活動

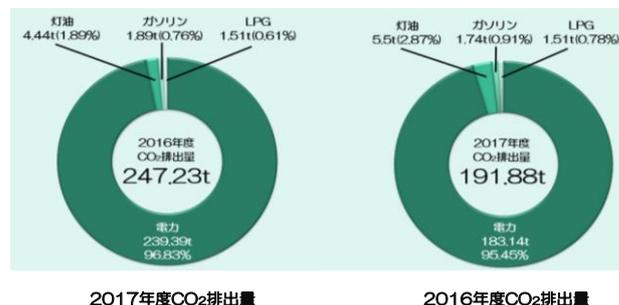
約55tの大幅削減に成功!!

右のグラフは、2017年度と2016年度の当社の使用エネルギー別CO₂排出量をグラフ化したものです。

エネルギー使用の構成比自体に大きな変化はないため、一見すると非常に似通った形のグラフの様ですが、中央の総排出量にご注目ください。2017年度の削減量は驚きの55t!

なぜこのような大幅削減が実現できたのでしょうか?

使用エネルギー別CO₂排出量内訳



電気事業者を切り替えただけで実現できた大幅削減

その答えは、至ってシンプル! 「電気事業者の切替えをしたため」。それだけなのです。

二酸化炭素排出量は通常、エネルギーの使用量に「排出係数」をかけて求めますが、その「排出係数」、実は電気事業者によって非常に大きな違いがあることに気付いたのです。

環境省・経済産業省により毎年公表されている「電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)一平成28年度実績一」にて、300社以上存在する電気事業者各社の温室効果ガス排出係数を知ることができます。

これを見ると、ごく少数ではありますが、調整後排出係数0.000000tCO₂/kWhの事業者、すなわち、CO₂を出さずに作った電力のみを供給する事業者が存在するではありませんか!

こうした事業者を選び、電気を購入すれば、電力の使用によるCO₂排出量は、いくら電力の使用量が増えても0(ゼロ)!

2017年の年初にこのことに気付き、事業者切替に数か月を要した後、2017年11月1日より、待望の切替が実現し、それ以降の電力による二酸化炭素排出量は0に!!

これこそ、当社2017年度CO₂排出量55t削減のからくり、なのです。

いずれ、CO₂排出量0操業も、夢じゃない!?

ハイブリッド車への更新により使用量の大幅削減に成功したガソリン、従業員の意識向上により年々使用量が減少しているLPG、そして、努力を続けるものの、なかなか使用量減少とはいかない灯油。電力の他にこれらのエネルギーを当社では使用しています。

電力の排出係数0.000000tCO₂/kWhが次年度以降も維持され(あくまで電気事業者頼みの他力本願にはなりますが……)、更にハイブリッド車が電気自動車(または燃料電池車)に更新され、給湯の熱源やフォークリフトの燃料も電化され、灯油暖房をエアコンに更新することができたとしたら——。夢のCO₂排出量0(ゼロ)による操業が実現してしまうではありませんか。

もちろん、災害時等に電力供給がストップすることのリスクや機器更新のコストなど

を考えると、現時点ではあまり現実的な話とは言えないかも知れません。しかし、CO₂排出量0にするための当社なりのロードマップを頭の中で思い描くぐらいなら、いつだってできる。そしてその今は空想レベルに過ぎないことの全てが実現したとき、CO₂排出量が永遠に0のままのグラフを描ける時代が待っている! そう信じています。

年度別CO₂排出量の推移



このグラフが永遠に0を示したままになる時代がいつ来る! か?

電力事業者切替が成功しCOP21約束線(2013年度比△26%)をクリア!!

4) SDGsで見る2017年度環境活動総括

SDGs目標別社内取組数集計結果

この頁の集計結果は、当社の2017年度環境活動計画をSDGsの目標に落とし込んだ場合、その目標に該当するものがそれぞれどのくらいあったかを集計したものです。

NO.	アイコン	SDGs目標	具体的施策	取組数グラフ			取組数
				10	20	30	
1		貧困撲滅	募金、ボランティア	[Bar chart showing 1 activity]			1
2		食糧問題解決	食べ残し防止	[Bar chart showing 0 activities]			0
3		健康	禁酒、禁煙、運動	[Bar chart showing 3 activities]			3
4		教育	学習	[Bar chart showing 31 activities]			31
5		男女平等	家事分担	[Bar chart showing 2 activities]			2
6		水	水質汚濁防止、節水	[Bar chart showing 8 activities]			8
7		エネルギー	クリーンエネルギーへの転換	[Bar chart showing 3 activities]			3
8		経済成長、労働	雇用、売上目標達成	[Bar chart showing 8 activities]			8
9		インフラ、産業化	生産、不良削減	[Bar chart showing 3 activities]			3
10		不平等是正	賃金改善、外国人差別改善	[Bar chart showing 0 activities]			0
11		都市、居住	住宅購入、防災、SDS	[Bar chart showing 11 activities]			11
12		生産、消費	G調達、廃棄物削減、CSR	[Bar chart showing 25 activities]			25
13		気候変動対策	GHG削減	[Bar chart showing 20 activities]			20
14		海洋保全	海洋汚染防止、生態系保護	[Bar chart showing 1 activity]			1
15		陸域保全	生態系保全、砂漠化対策	[Bar chart showing 6 activities]			6
16		平和、司法	戦争撲滅、政治参加、遵法	[Bar chart showing 8 activities]			8
17		パートナーシップ	途上国援助 国家間協力	[Bar chart showing 0 activities]			0
取組SDGs合計							130

SDGsから見た当社環境活動計画の特徴と課題

環境教育特化型の環境活動

上のグラフより、ゴール4「教育」が突出して多いことが分かります。EA21認証取得当初より環境教育に力を注いできたことが、ここからもはっきり見て取ることができるとでしょう。

今後の活動の課題

現状の当社の環境活動において、ESGの「S(社会)」に当たる部分が全く取り入れられていないことも、このグラフを見れば一目瞭然。特にゴール8「経済成長」あたりと絡めた、利益を生む活動を目指してみるのも一つかと。

1) 代表者レビュー

EA21の認証取得後8年、今年は記念すべき年になりそうです。

会社の業績が6年間の赤字決算を脱し、とうとう黒字に転じることができたのが第一、EA21の活動がやや内向きなものから、SDGsという外にも目を転じる目標を取り込むことで大きな飛躍の可能性をつかんだことが第二の記念すべき大きな出来事です。

今年度版の環境活動レポートを読むと、経営的に苦しかった6年間も、環境活動上は確実に小さな一歩を歩み続けていたことが解り、社員の皆様、特に環境管理責任者には、頭が下がります。

今年の11月には、先代の社長の七回忌があります。

先代には会社の苦境脱出と環境活動の新展開を報告し、今後も見守っていただく様、お願いしようと思ひます。

2) 2018年度以降の目標

2017年度は、電気事業者の切り替えを行ったことや社用車をハイブリッド車に更新したことが奏功し、大幅なCO₂排出量削減に成功しました。

但し、これは、自らの努力というより、他者の努力、技術の革新の恩恵を受けたことによつてなし得たものに過ぎません。

2018年度以降も、こうしたものの恩恵と、従業員の一層の努力と創意工夫の相乗効果により、大変厳しい目標とはなりますが、下記の目標の達成に向け、各自尽力して頂くことに期待します。

CO₂排出量の削減目標

項目	※削減目標				
	基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2030年度
CO ₂ 排出量	2013年度	28.3%削減	30.2%削減	32.0%削減	50.0%削減

削減目標の根拠：まず、基準年度(2013年度)とゴール(2030年度)については、COP21の国の約束草案にそのまま合わせる形で設定しました。

CO₂排出量のスタートラインは2015年度CO₂排出量の実績値(251,377kg-CO₂)とし、それをCOP21の目標年(2030年)までの15年間に半減させることを目標に、取り組むこととしました。

尚、2018年度以降の各年度の目標値は、2013年度の実績値である326,337kg-CO₂から2030年度までの目標値(163,168.5kg-CO₂)を減算し、その数値をスタートから目標年までの年数(15年間)で均等割りすることで、各年の年間削減目標値を設定しました。

その他の項目の削減目標

項目	基準年度	削減目標		
		2018年度	2019年度	2020年度
電力	2015年度	原単位△3%	原単位△4%	原単位△5%
灯油	2010年度	原単位△6%	原単位△7%	原単位△8%
LPG	2010年度	原単位△8%	原単位△9%	原単位△10%
ガソリン	現状把握とする(全ての車両が更新されたため)			
事業系一般廃棄物	2014年度	総量△3%	総量△4%	総量△5%
産廃(廃ウエス)	2017年度	総量△1%	総量△2%	総量△3%
紙くず(リサイクル率)	2010年度	7%向上	8%向上	9%向上
廃アルミ	2010年度	原単位△8%	原単位△9%	原単位△10%
水	2015年度	原単位△2%	原単位△3%	原単位△4%
炭化水素	2017年度	原単位△1%	原単位△2%	原単位△3%
潤滑油(ラタック)	2010年度	原単位△6%	原単位△7%	原単位△8%
グリーン調達率	—	82%以上	83%以上	84%以上

※ 削減目標について、昨年度未達の項目については、前年度(2017年度)の目標値をそのまま目標値とします。

※ 削減目標に「原単位」とあるものについては、下記の原単位を目標値とします。

- 電力、廃アルミ、潤滑油(ラタック) : 洗浄袋数(調整)原単位
 調整方法については、当レポート23頁「レポートを読み解くためのキーワード解説②「洗浄袋数(調整)原単位とは？」参照。
- 炭化水素 : 洗浄袋(調整不要)原単位(使用量÷洗浄袋数(袋))
- LPG、灯油 : 稼働日原単位(使用量÷稼働日(日))
- 水 : 稼働時間原単位(使用量÷稼働時間(h))

3) その他の指示事項

今年度より新たなエコアクション21ガイドライン(2017年版)への移行が可能となります。

環境管理責任者にあっては、新たに定めた環境経営方針及び環境経営目標を全従業員に周知することと、当方針に基づく環境経営計画の運用に当たり、本年(2018年)に2017年版への移行が完了できるように、準備を進めてください。